

静岡県月例経済報告

(令和6年3月号)

……令和6年1月を中心とした県内経済のすがた……

No. 575

—静岡県経済産業部—

目 次

I 静岡県経済の概況	1
II 静岡県主要経済指標の概況	7
・需要面	7
・生産面	15
・雇用面	17
・その他	20
III 静岡県主要産業の動向	24
IV データからみた県内主要産業	27
<特集> 令和5年の静岡県経済を振り返って	28

利用にあたって

- 1 本月報は、本県経済の状況について、経済統計及び産業動向をとりまとめたものである。
- 2 本月報は4部から構成されている。
- 3 第1部では、本県経済の概況について経済統計データを中心に述べているが、指標によっては当該月データが未公表のため前月値を用いる場合がある。これらの指標は文中に示している。
- 4 第2部では、本県経済の動向について主要経済指標を用いて、データとグラフで示している。
- 5 第3部では、本県の主要産業動向について簡単にまとめている。
- 6 第4部では、本県の主要産業動向についてデータで示している。
- 7 本月報で用いた ▲はマイナスを表している。
- 8 数字の単位未満は四捨五入することを基本としているが、情報提供元の公表方法に準拠させている。

この「静岡県月例経済報告」は、静岡県経済産業部のインターネット・ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス(URL)

<https://www.pref.shizuoka.jp/sangyoshigoto/keizaisangyo/tokeishiryoku/getsureihokoku/index.html>

I 静岡県経済の概況

〔 本稿は、令和6年1月を中心とした経済統計及び企業ヒアリングをもとに取りまとめている。 〕

概況

令和6年1月を中心とした静岡県の景気は、このところ足踏みもみられるが、緩やかに持ち直している。

先行きについては、全体としては持ち直しの動きが期待される。ただし、雇用・所得環境や海外経済の動向等に十分注意する必要がある。

雇用情勢は、全体として改善しているが、業種によりばらつきがみられる。

- ・ 個人消費は、持ち直しに足踏みがみられる。
- ・ 設備投資は、増加している。
- ・ 輸出は、おおむね横ばいとなっている。
- ・ 生産は、弱めの動きとなっている。

(下線部は前月からの変更箇所)

需要面

「個人消費は、持ち直しに足踏みがみられる」

大型小売店販売額(1月)は、百貨店が4か月連続、スーパーが2か月連続で前年実績を下回ったため、総額でも2か月連続で前年実績を下回った。

専門量販店等販売額(1月)は、家電大型専門店が6か月連続、コンビニエンスストア、ホームセンターがいずれも2か月連続で前年実績を下回ったものの、ドラッグストアが33か月連続で前年実績を上回ったため、総額でも25か月連続で前年実績を上回った。

自動車(新車)新規登録台数(1月)は、乗用車が2か月連続、軽自動車が3か月連続で前年実績を下回ったため、総数でも2か月連続で前年実績を下回った。

「住宅建設は、前年を下回った」

新設住宅着工戸数(1月)は、持家が12か月ぶりに前年実績を上回ったものの、貸家が4か月連続、分譲住宅が2か月ぶりに前年実績を下回ったため、総数でも4か月連続で前年実績を下回った。

「公共投資は、前年を上回った」

公共工事請負金額(1月)は、3か月連続で前年実績を上回った。

「設備投資は、増加している」

日銀短観(12月調査)の令和5年度の設備投資(含む土地投資)(計画)は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加する計画となっている。

また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資(除く土地投資)(計画)は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加する計画となっている。

着工建築物床面積(非居住用)(1月)は、2か月連続で前年実績を下回った。

「輸出は、おおむね横ばいとなっている」

「輸入は、前年を上回った」

輸出総額(1月)は、原動機が4か月連続、エアコンが8か月連続で前年実績を下回ったものの、自動車は13か月連続、自動車の部分品が7か月連続、二輪自動車類が4か月連続、科学光学機器が5か月ぶりに前年実績を上回ったため、総額でも3か月ぶりに前年実績を上回った。

また、輸入総額(1月)は、魚介類及び同調製品が8か月連続、木材が2か月ぶり、パルプが4か月連続で前年実績を下回ったものの、紙類及び同製品が2か月ぶり、原動機が2か月連続、自動車の部分品が10か月連続で前年実績を上回ったため、総額でも10か月ぶりに前年実績を上回った。

なお、輸出入のバランスは、401億円の輸出超過となった。

生産面

「生産は、弱めの動きとなっている」

鉱工業生産指数(1月)は、業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械が3か月ぶり、化学が6か月ぶり、パルプ・紙・紙加工品が15か月ぶりに前年水準を上回ったものの、電気機械が2か月連続、輸送機械が11か月ぶり、食料品・たばこが8か月連続で前年水準を下回ったため、総合でも3か月連続で前年水準を下回った。また、前月比は3か月連続で減少した。

なお、鉱工業在庫指数は、総合では2か月ぶりに前年水準を下回った。

雇用面

「雇用情勢は、全体として改善しているが、業種によりばらつきがみられる」

有効求人倍率(1月)は1.21倍となり、前月と同水準となった。全国値を0.06ポイント下回った。

雇用保険受給者実人員(1月)は、10か月連続で前年実績を上回った。

また、所定外労働時間指数(12月)は、25か月ぶりに前年実績を下回った。

その他

「金融環境は、貸出残高は前年を下回り、信用保証金額は前年を上回った」

県内金融機関の貸出残高(1月)は、前年同月比 0.5%減と前年実績を下回った。

信用保証協会保証金額(1月)は、前年同月比 20.1%増と前年実績を上回った。

「企業倒産は、件数、負債総額のいずれも前年を下回った」

企業倒産(2月)は、件数は9件(前年同月比 52.6%減)、負債総額は990百万円(同 26.9%減)と、いずれも前年実績を下回った。

<トピックス> 「静岡県令和6年度当初予算」の概要

富国有徳の「美しい“ふじのくに”」づくり

～ 未来に翔くSDGsの理想郷 ～

社会構造が大きく転換する中、人口減少や経済の再生・発展など、本県が直面する課題に挑戦し、未来に向けて、持続可能で安心して暮らせる社会を創造する「美しい“ふじのくに”」づくりを推進する予算編成と組織改編を行います。

本県令和6年度当初予算 一般会計 1兆3,160億円【対前年度当初比 54億円減（4.0%減）】

(単位：百万円・%)

区分	6年度当初	5年度当初	増減	伸率
一般会計	1,316,000	1,370,300	▲ 54,300	▲ 4.0
特別会計	889,818	832,288	57,530	6.9
企業会計	80,594	87,504	▲ 6,910	▲ 7.9
合計	2,286,412	2,290,092	▲ 3,680	▲ 0.2

方針1 人づくり・富づくりを着実に推進する取組

(1) 安全・安心な地域づくり

(2) 持続的な発展に向けた新たな挑戦

(経済産業部 主な事業)

- ・再生可能エネルギー導入促進緊急対策事業費助成 (268百万円)

資源価格の変動に強い安定した経営に繋げるため、太陽光発電設備や蓄電池の導入に対して助成

(3) 未来を担う有徳の人づくり

(4) 豊かな暮らしの実現

(経済産業部 主な事業)

- ・スタートアップ支援事業費(新規) (247百万円)

「静岡県スタートアップ支援戦略」に基づき、県内で新たなスタートアップを創出・育成するとともに、県外から呼び込むための取組を行う

- ・マリンバイオ産業振興事業費 (367百万円)

本県の魅力ある海洋資源を活用し、マリンバイオテクノロジーを核としたイノベーションを促進することにより、多彩な産業の振興と創出を図る

- ・中小企業向制度融資促進費助成 (融資枠120,000百万円)

経営改善や経営安定、創業等に取り組む中小企業者に、低利で融資するための利子補給を行う

- ・持続的農業経営支援事業費助成 (100百万円)

農業経営の維持・発展を目指す中規模経営体による省エネや生産の効率化に資する農業用施設・機械等の更新や改修に対して助成

- ・県産飼料自給率向上対策事業費(新規) (26百万円)

県産飼料の自給率を向上し、畜産経営の安定化等を図るため、輸入飼料から県産飼料への転換に向けた取組を促進する

- ・木材生産加速化(担い手育成型)モデル事業費助成(新規) (50百万円)

森林の集約化と施業の効率化を促進するため、林業経営体が実施する所有者との合意形成や路網整備、間伐などをモデル的に支援する

- ・「海業」推進事業費助成(新規) (100百万円)

水産業の活性化を図るため、漁業者を中心とした地域資源の活用による「海業」の振興や、水産業者等によるイノベーションの創出を支援

- ・しずおかUIターン就職支援事業費 (76百万円)

県外在住の大学生や社会人に対し、SNS等を活用した情報発信を行うとともに、就職相談や就職関連イベントの開催などにより、県内企業とのマッチングを支援

(5) 魅力の発信と交流の拡大

(経済産業部 主な事業)

- ・浜名湖花博20周年記念事業開催事業費 (25百万円)

浜名湖ガーデンパーク等を会場として実施する「浜名湖花博20周年記念事業」の開催運営を行う

方針2 生産性の高い持続可能な行財政運営

(1) 政策の推進に向けた組織体制の強化

(2) 将来にわたって安心な財政運営の堅持

<トピックス>



浜名湖花博2024

LAKE HAMANA HANAHAKU 2024

浜名湖ガーデンパーク会場

2024年

4/6 **土** - 6/2 **日**

9:30~17:00

はままつフラワーパーク会場

2024年

3/23 **土** - 6/16 **日**

9:00~17:00

入場券
好評発売中

入場料

入場料	普通入場券				セット入場券				期間パスポート			
	大人		小・中学生		大人		小・中学生		大人		小・中学生	
	前売	当日	前売	当日	前売	当日	前売	当日	前売	当日	前売	当日
浜名湖ガーデンパーク	600円	800円	300円	400円	1,200円	1,700円	600円	850円	2,400円	3,200円	1,200円	1,600円
はままつフラワーパーク	700円	1,000円	350円	500円	—	—	—	—	—	—	—	—

※はままつフラワーパークは、東海地区の観光客に配慮し、はままつフラワーパークで販売している乗車券が、お一人様1枚までとなります。入場料は別途お支払いください。浜名湖花博2024は、浜名湖花博2024実行委員会主催のイベントです。

主催・お問い合わせ | 浜名湖花博20周年記念事業実行委員会 | 〒430-0929 浜松市中区中央1丁目12-1 (浜松総合庁舎5階) | 受付時間：月曜～金曜 8:30～17:00、土日・前日除く
| 浜名湖ガーデンパーク会場に関すること | 浜名湖花博2024実行委員会 TEL: 053-482-7350 | はままつフラワーパーク会場に関すること | 浜松市緑政課 TEL: 053-457-2565

浜名湖花博2024 検索



<トピックス> 地域経済牽引企業の魅力を紹介する動画を新たに4本配信！

- 県は、民間企業が地域の特性を生かして取り組む事業を、「地域経済牽引事業」（※1）として承認しており、承認された企業を地域経済牽引企業と呼んでいます。
- 地域経済牽引企業は、「7つの産業革命」（※2）の先頭に立ち、豊かな社会を目指し、地域の特性や新技術を生かして成長性の高い新たな分野に挑戦する企業です。
- このたび、こうした企業の取組を紹介する動画を新たに4本制作しました。成長ものづくり等、多彩な企業の魅力について、各企業のリーダーや若手社員らが自ら熱く語っています。

動画制作により、
地域経済牽引企業の取組を紹介

本県産業の
魅力を発信

- ✓ 県内企業の取組を一層促進
- ✓ 大都市圏からのU・Iターン就職増加

◆動画の視聴方法







HPから御覧ください！

<https://www.pref.shizuoka.jp/sangyoshigoto/kiyoshien/1047633/shizuoka-sangyokakumei/index.html>

令和2～4年度に作成した
30社の動画も公開中です！



◆今回、動画を公開する4社（順不動）

<p>富士宮通運(株) (富士市/富士宮市)</p>  <p>健康食品・化粧品・医薬部外品の充填から包装表示までの作業を行っています</p> <p>あふれる若い力で製造と物流を支える</p>	<p>遠州トラック(株) (袋井市)</p>  <p>近隣メーカーのオーダーに対して部品をセット組みし生産ラインに合わせて適時供給することに対応しました</p> <p>物流を基盤に東海道の真ん中から社会貢献する</p>
<p>(株)エイディーディー (沼津市)</p>  <p>「液体窒素を使わない-100℃のアイシングマシン」を開発致しました</p> <p>チャレンジ精神に溢れる開発型企业で在り続ける</p>	<p>協和工業(株) (湖西市)</p>  <p>強く硬くかつ軽量化を可能にする「ハイテン材」が注目されています</p> <p>ものづくりの誇りと喜びを分かち合える企業を目指す</p>

※1 地域未来投資促進法（地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律の略称）に基づき、市町村・都道府県が作成した「基本計画」に沿って事業者が作成し、承認を受けた事業。

事業計画作成による支援メニューとして、

① 先進的な事業に必要な設備投資への減税（税額控除又は特別償却：令和6年度末まで）

② 国の補助制度における審査上の加点・優遇等

③ 日本政策金融公庫による融資、信用保証協会の保証枠拡大 等

※2 成長ものづくり、農林水産、第4次産業革命、観光、スポーツ、環境・エネルギー、ヘルスケア産業の7つの分野において、静岡県で起きている革命を指す。

問合せ先/産業政策課 TEL : 054-221-2635

<トピックス> 業種別の経済・雇用情勢

① 県制度融資の申込状況

(令和6年3月19日時点)

区分		申込状況		
		金額	件数	業種別の状況
R2 ～4	新型コロナウイルス感染症対応枠(旧) 【R2.2.12～4.17終了】	億円 2,334	件 8,158	卸小売業23.5%、製造業22.0%、建設業17.1%、飲食業12.8%、宿泊・旅行業3.5%、運輸業2.9%等
	国連携新型コロナウイルス感染症対応貸付 【R2.5.1～R3.3.31】	億円 8,064	件 53,666	建設業26.0%、卸小売業19.8%、製造業19.5%、飲食業7.9%、運輸業2.9%、宿泊・旅行業1.3%等
	新型コロナウイルス感染症対応枠(新) 【R2.4.28～R5.3.31】	億円 872	件 5,790	建設業31.7%、卸小売業18.7%、製造業15.0%、飲食業7.9%、運輸業3.4%、宿泊・旅行業1.7%等
	新型コロナウイルス感染症対応伴走支援 特別貸付【R3.4.1～R5.3.31】	億円 620	件 3,802	建設業25.7%、卸小売業21.3%、製造業20.3%、飲食業10.0%、運輸業3.9%、宿泊・旅行業2.6%等
	再生支援企業貸付(新型コロナウイルス 感染症対応枠)【R3.4.1～R5.3.31】	億円 30	件 127	製造業41.7%、卸小売業27.6%、運輸業9.4%、建設業8.7%、飲食業3.1%、宿泊・旅行業3.1%等
R5	新型コロナウイルス感染症対応枠(新) 【R5.4.1～】	億円 74	件 509	建設業36.3%、卸小売業18.3%、製造業14.5%、運輸業5.3%、飲食業3.5%等
	新型コロナウイルス感染症対応伴走支援 特別貸付【R5.4.1～】	億円 1,063	件 5,786	建設業25.3%、製造業22.2%、卸小売業22.0%、飲食業6.8%、運輸業4.0%、宿泊・旅行業1.1%等
	再生支援企業貸付(新型コロナウイルス 感染症対応枠)【R5.4.1～】	億円 14	件 44	製造業54.5%、建設業6.8%、卸小売業4.5%、運輸業4.5%等
計		億円 13,071	件 77,882	リーマンショック時：保証料承諾額 1,749億円 (H20.9～H21.8：1年間) 東日本大震災時：保証料承諾額 553億円 (H23.4～H24.3：1年間)

② 県内の新規求人数(季節調整値)の推移

業種別新規求人(一般+パート) 前年同月比の推移

(%)

区分	R5年 2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6年 1月
農・林・漁	9.8	▲19.9	▲22.7	▲22.0	▲31.0	▲3.9	▲28.3	▲24.4	▲0.7	▲24.6	▲18.3	27.4
建設業	▲8.6	▲0.5	▲8.5	▲7.0	▲3.9	▲9.9	▲2.0	1.2	▲16.9	1.1	16.5	8.3
製造業	▲16.4	▲18.1	▲4.8	▲13.4	▲17.4	▲12.8	▲17.7	▲13.8	▲15.0	▲12.8	▲10.4	▲10.5
卸売・小売業	9.3	19.9	19.1	2.6	▲3.5	14.6	▲16.8	▲16.6	24.1	▲10.4	▲35.2	37.1
金融、保険 不動産業	11.1	6.3	▲13.7	18.4	▲2.9	▲6.1	12.1	▲3.9	▲17.3	5.3	17.9	4.2
運輸業	▲17.3	▲8.7	9.6	▲2.6	▲5.3	▲3.2	▲4.2	▲10.7	▲1.9	▲5.7	14.9	▲9.6
情報通信業	15.5	▲22.0	▲6.6	17.6	▲22.3	7.0	7.1	▲15.5	18.3	1.9	21.8	22.2
飲食、宿泊 サービス業他	7.0	5.0	▲5.1	16.4	0.3	▲17.8	2.7	▲1.6	▲3.8	▲12.5	3.3	▲8.8
県全体	▲1.4	▲1.5	0.4	▲0.8	▲6.6	▲2.4	▲6.0	▲10.4	▲1.4	▲4.8	▲4.9	1.8

(出典：静岡県内の最近の雇用情勢(静岡労働局))

③ 県内企業の倒産状況

業種別倒産件数(負債金額1千万円以上)の推移

(件)

区分	R5年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6年 1月	2月
農・林・漁・鉱業	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
建設業	5	2	2	2	8	6	7	2	1	2	2	5
製造業	4	3	3	2	5	2	4	6	2	8	5	0
卸売・小売業	8	4	3	4	5	2	6	2	9	5	3	1
金融、保険 不動産業	1	0	2	0	2	0	3	0	1	0	0	1
運輸業	0	0	0	0	0	0	1	1	2	1	1	0
情報通信業	1	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0
飲食、宿泊 サービス業他	10	2	6	7	4	5	8	4	4	3	4	2
県全体	30	11	17	15	24	15	31	17	19	19	15	9
うちコロナ 関連倒産	11	8	2	9	5	4	5	4	6	10	3	1

(出典：東京商工リサーチ静岡支店調べ)

II 静岡県主要経済指標の概況

需 要 面

1 個人消費

(1) 大型小売店販売額

1 月 = 38,659百万円

*前年同月比： 0.8%減

(県内3百貨店、162スーパー合計)

<概況>

1月の大型小売店販売額は38,659百万円で、前年同月比0.8%減となり、2か月連続で前年実績を下回った。

業態別にみると、百貨店(前年同月比3.1%減)が4か月連続、スーパー(同0.3%減)が2か月連続で前年実績を下回った。

商品別では、飲食料品(同0.3%増)が2か月ぶりに前年実績を上回ったものの、衣料品(同2.3%減)が2か月連続、身の回り品(同20.6%減)が5か月連続、家庭用品(同3.4%減)が7か月連続で前年実績を下回った。

なお、店舗数調整前の前年同月比は5.7%減と、2か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R5年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月
販売額(百万円)	36,227	38,847	37,948	35,452	37,583	37,605	46,496	38,659
前年同月比(%)	0.9	3.3	1.9	0.3	▲0.2	0.9	▲2.3	▲0.8
うち百貨店(%)	▲0.2	4.1	8.0	0.2	▲7.0	▲2.4	▲3.4	▲3.1
スーパー(%)	1.0	3.2	1.0	0.3	1.1	1.6	▲2.1	▲0.3
(参考1)全国前年同月比(%)	4.1	5.5	6.0	4.5	3.7	4.4	2.5	3.3
うち百貨店(%)	7.2	8.8	12.0	9.4	6.3	7.7	5.8	7.8
スーパー(%)	2.9	4.3	4.2	2.8	2.8	3.1	1.1	1.7
(参考2)県前年同月比(店舗数調整前)	2.4	4.9	4.1	2.5	2.2	3.4	▲0.2	1.8

(注1)販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

(注2)令和2年3月に調査事業者の見直しを行ったため、前年同月比の計算についてはリンク係数処理済み

<商品別前年同月比の推移>

(単位：%)

	R5年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月
衣料品	1.1	9.8	0.2	▲3.7	▲3.7	3.1	▲7.4	▲2.3
うち紳士服・洋品	4.3	14.4	8.4	▲0.5	2.7	13.2	▲10.2	▲4.8
婦人・子供服・洋品	1.0	9.5	▲1.6	▲3.5	▲5.1	▲0.3	▲5.6	▲0.4
身の回り品	▲1.7	7.7	23.3	▲6.2	▲18.3	▲11.9	▲21.0	▲20.6
飲食料品	0.3	2.2	1.0	0.5	0.8	0.6	▲1.0	0.3
家庭用品	2.1	▲2.0	▲6.5	▲5.2	▲5.0	▲3.5	▲5.2	▲3.4
うち家庭用電気機械器具	5.2	▲5.2	▲6.7	▲6.0	▲8.5	7.0	▲3.0	▲5.7

(注)店舗数調整済、全月速報値

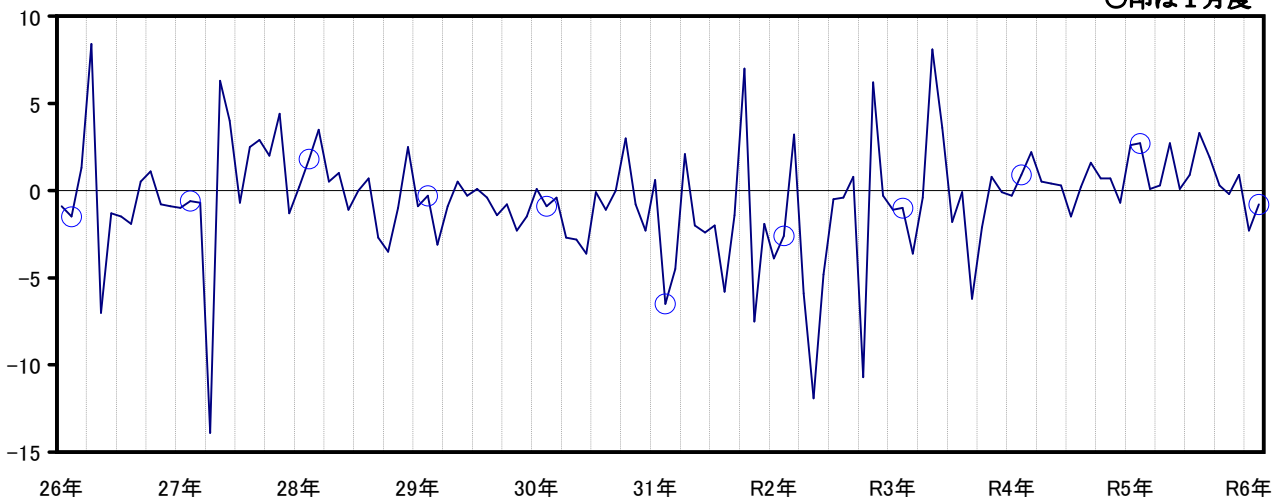
<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

大型小売店販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省

○印は1月度



(2) 専門量販店等販売額

1月 = 74,586百万円

*前年同月比：0.3%増

(県内94家電大型専門店、1,658コンビニエンスストア、605ドラッグストア、108ホームセンター合計)

<概況>

1月の専門量販店等販売額は74,586百万円で、前年同月比0.3%増となり、25か月連続で前年実績を上回った。

業態別にみると、家電大型専門店（前年同月比10.3%減）が6か月連続、コンビニエンスストア（同0.1%減）、ホームセンター（同1.0%減）がいずれも2か月連続で前年実績を下回ったものの、ドラッグストア（同4.6%増）が33か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R5年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月
販売額（百万円）	75,162	84,147	80,673	76,136	77,087	74,993	86,114	74,586
前年同月比（%）	2.0	5.4	2.0	2.9	2.5	3.2	0.1	0.3
うち 家電大型専門店（%）	▲7.8	1.5	▲2.8	▲3.4	▲10.2	▲1.7	▲8.7	▲10.3
コンビニエンスストア（%）	0.8	3.4	1.3	0.6	0.7	0.6	▲0.3	▲0.1
ドラッグストア（%）	8.2	9.3	5.6	9.0	10.0	6.7	5.6	4.6
ホームセンター（%）	▲2.7	4.3	▲3.1	▲2.2	▲3.2	5.8	▲5.0	▲1.0
(参考)全国前年同月比（%）	2.9	6.5	5.7	4.5	3.2	3.4	2.4	1.6

(注1) 販売額、前年同月比は店舗数未調整

<資料>経済産業省

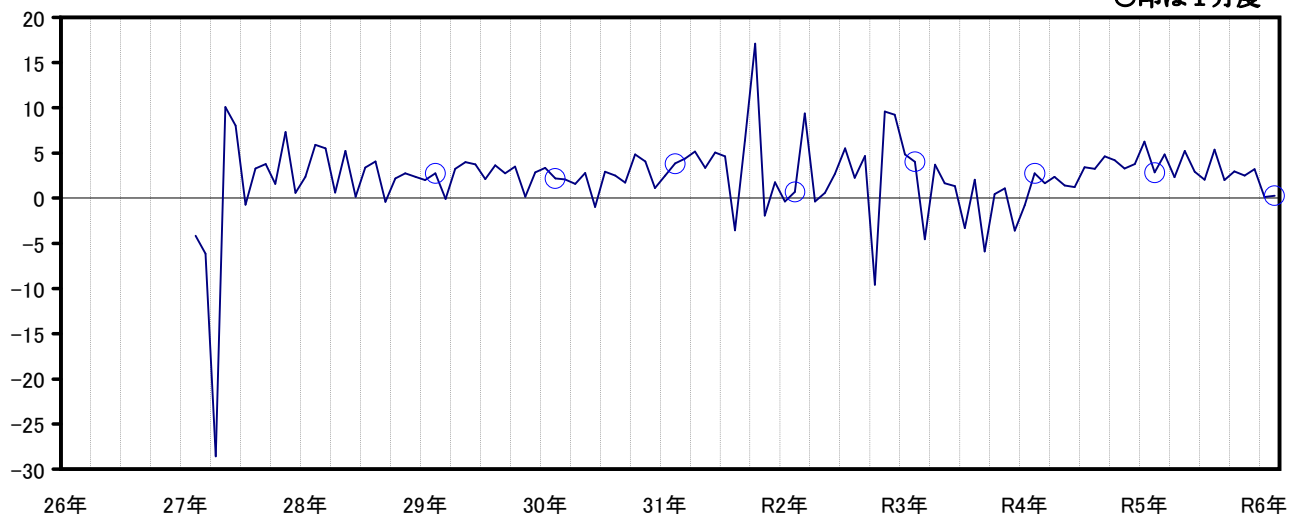
(注2) 平成28年7月からコンビニエンスストアの販売額を追加

<過去10年間の推移>

専門量販店等販売額前年同月比（%）

<資料>経済産業省

○印は1月度



(3) 自動車(新車)新規登録台数**1月 = 12,364台**

*前年同月比：13.7%減

(乗用車、軽自動車合計)

<概況>

1月の自動車(新車)新規登録台数は12,364台で、2か月連続で前年実績を下回った。
 車種別にみると、乗用車(同5.4%減)が2か月連続、軽自動車(同21.6%減)が3か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R5年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月
登録台数(台)	13,003	12,119	11,120	14,721	13,569	14,028	12,336	12,364
前年同月比(%)	14.4	1.6	12.6	11.7	4.5	0.0	▲8.2	▲13.7
(参考)全国前年同月比(%)	23.9	11.4	19.8	11.8	13.1	11.7	6.1	▲10.8

<資料>県税務課、日本自動車販売協会連合会

<車種別(新車)新規登録台数前年同月比の推移>

(単位：%)

	R5年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月
全乗用車	14.4	1.6	12.6	11.7	4.5	0.0	▲8.2	▲13.7
乗用車	24.4	16.8	12.9	10.6	4.2	7.2	▲3.2	▲5.4
軽自動車	4.5	▲14.2	12.3	12.9	4.8	▲6.9	▲13.5	▲21.6

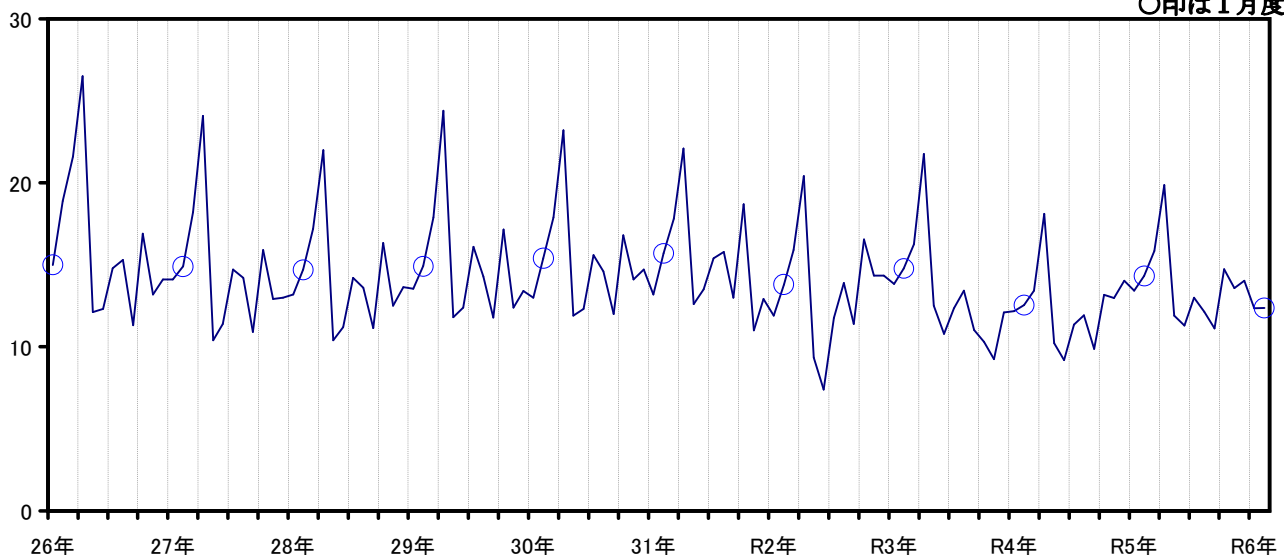
<資料>県税務課

<過去10年間の推移>

自動車(新車)新規登録台数(千台)

<資料>県税務課

○印は1月度



(注)全国前年同月比は乗用車+軽乗用車

2 新設住宅着工戸数

1月 = 1,316戸

*前年同月比：15.3%減

<概況>

1月の新設住宅着工戸数は1,316戸で、前年同月比15.3%減と、4か月連続で前年実績を下回った。

利用関係別にみると、持家（前年同月比2.2%増）が12か月ぶりに前年実績を上回ったものの、貸家（同12.1%減）が4か月連続、分譲住宅（同47.2%減）が2か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月
戸数（戸）	1,621	1,712	2,028	1,575	1,412	1,452	1,512	1,316
前年同月比（%）	▲7.3	▲7.6	17.2	0.6	▲14.0	▲13.8	▲9.9	▲15.3
うち持家（%）	▲14.6	▲6.9	▲3.2	▲1.8	▲17.6	▲14.0	▲18.7	2.2
貸家（%）	13.0	▲27.5	63.5	24.7	▲24.2	▲11.0	▲19.9	▲12.1
分譲住宅（%）	▲16.6	40.1	2.2	▲28.4	21.7	▲18.5	32.9	▲47.2
(参考)全国前年同月比（%）	▲4.8	▲6.7	▲9.4	▲6.8	▲6.3	▲8.5	▲4.0	▲7.5

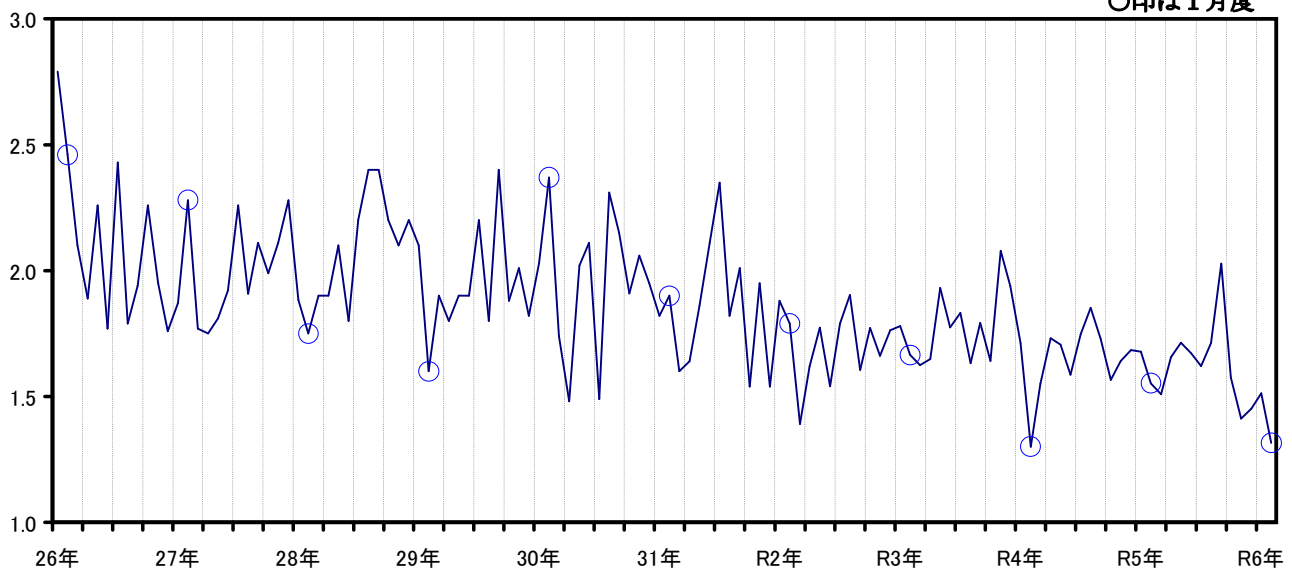
<資料>県住まいづくり課

<過去10年間の推移>

新設住宅着工戸数(千戸)

<資料>県住まいづくり課

○印は1月度



3 公共工事請負金額

1月 = 17,962百万円

*前年同月比：65.5%増

(建設保証会社保証実績)

<概況>

1月の公共工事の請負金額（工事場所ベース）は17,962百万円で、前年同月比65.5%増となり、3か月連続で前年実績を上回った。また、取扱い件数（工事場所ベース）は277件で、前年同月比8.0%減となり、4か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R5年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月
金額（百万円）	35,790	27,166	26,199	33,777	20,383	18,433	15,407	17,962
前年同月比（%）	6.8	▲10.6	▲28.9	▲6.5	▲18.0	43.3	21.5	65.5
年度累計前年同月比（%）	12.1	7.4	0.1	▲1.0	▲2.7	▲0.4	0.6	3.1
件数（件）	844	760	755	928	724	616	456	277
前年同月比（%）	9.8	4.1	▲6.4	▲11.1	3.0	18.9	8.3	▲8.0
年度累計前年同月比（%）	8.1	6.9	3.7	0.2	0.6	2.3	2.7	2.2

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<発注者別請負金額前年同月比の推移>

(単位：%)

	R5年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月
国	▲0.5	▲76.1	7.7	11.8	▲56.5	▲5.3	▲76.2	52.2
独立行政法人等	▲80.8	▲34.6	▲99.5	161.4	▲99.0	▲16.4	▲86.2	1,328.9
県	15.9	34.9	▲21.3	▲20.5	6.4	37.6	53.2	▲21.5
市町	31.2	▲12.0	▲6.9	0.4	6.0	27.8	82.2	187.5
地方公社	757.4	▲67.0	▲6.9	-	-	-	-	-
その他	▲62.3	▲74.3	▲83.2	16.9	-	2,344.2	277.6	▲48.2

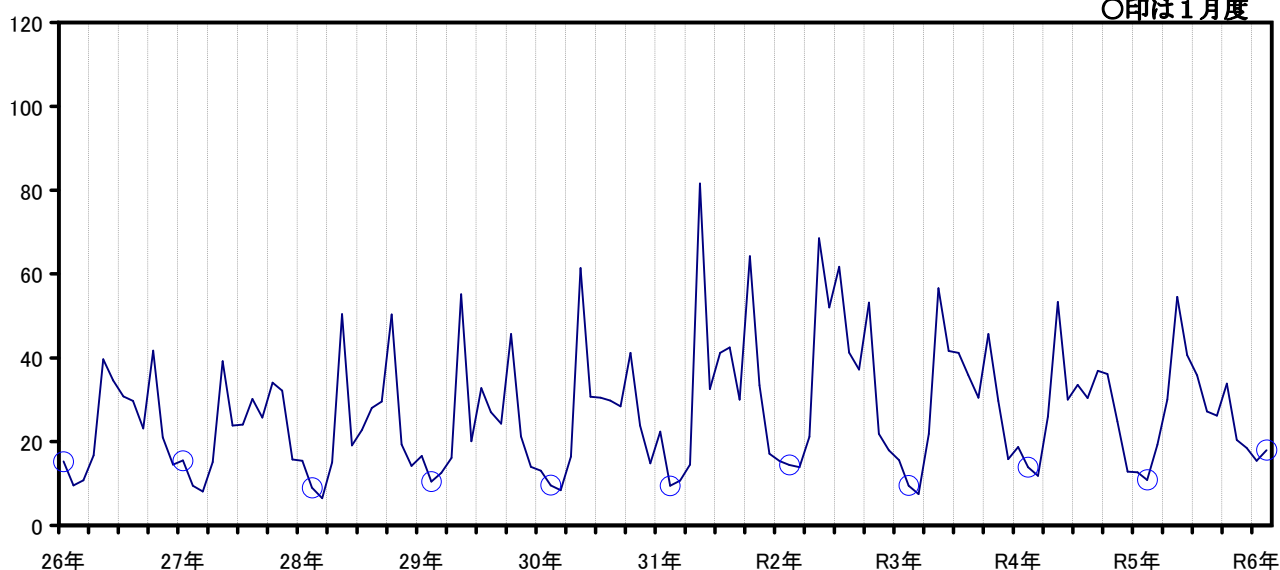
<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<過去10年間の推移>

公共工事請負金額(十億円)

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

○印は1月度



4 設備投資

<概況>

令和4年度の設備投資（含む土地投資）、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業で増加、非製造業で減少、全産業で増加した。

令和5年度の設備投資（含む土地投資）は、製造業（前年度比 25.9%増）、非製造業（同 4.2%増）、全産業（同 16.1%増）においていずれも増加する計画となっている。また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業（前年度比 16.2%増）、非製造業（同 4.3%増）、全産業（同 13.4%増）においていずれも増加する計画となっている。

1月の着工建築物床面積（非居住用）は85,946㎡で、前年同月比 27.8%減となり、2か月連続で前年実績を下回った。

<企業短期経済観測調査結果>（前年度比%（ ）内は前回調査比修正率）

設備投資（含む土地投資）

		R4年度	R5年度 (計画)
全産業	県	9.1	(▲1.7) 16.1
	全国	9.2	(▲0.2) 12.8
製造業	県	19.2	(▲2.9) 25.9
	全国	9.0	(▲0.4) 14.6
非製造業	県	▲1.1	(0.1) 4.2
	全国	9.3	(0.0) 11.7

ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）

		R4年度 (実績)	R5年度 (計画)
全産業	県	12.6	(▲1.4) 13.4
	全国	7.4	(▲0.6) 12.6
製造業	県	17.5	(▲1.4) 16.2
	全国	8.5	(▲0.5) 11.4
非製造業	県	▲1.0	(▲1.1) 4.3
	全国	6.2	(▲0.6) 14.0

（注1）平成29年3月調査分から半期計数の掲載を取り止め、年度計数のみを掲載

（注2）平成29年3月調査分から「ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）」を追加

<資料>日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果（令和5年12月調査）」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査」（令和5年12月調査）」

<最近の動き>

	R5年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月
着工建築物床面積（非居住用）（㎡）	138,959	105,191	83,901	52,555	108,519	255,946	103,727	85,946
前年同月比（%）	30.3	▲57.1	▲1.5	▲33.3	▲37.1	76.8	▲37.6	▲27.8
（参考）全国前年同月比（%）	▲34.2	▲27.5	▲11.5	0.8	28.4	▲9.8	1.0	▲16.1

（注3）着工建築物床面積は公共と民間の合計のうち、非居住用

<資料>国土交通省

<参考 県内企業の業況判断D. I. >

		R5年9月	R5年12月	R6年3月 (予測)
全産業		4	12	9
	製造業	▲3	7	2
	非製造業	11	15	15
（参考）全国・全産業		10	13	8

（注4）業況判断D. I. : 「良い」-「悪い」回答社数構成比%ポイント

<資料> 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果（令和5年12月調査）」

5 輸出

1 月 = 188,141百万円

*前年同月比： 5.0%増

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

1月の清水税関支署管内の輸出総額は188,141百万円で、前年同月比 5.0%増となり、3か月ぶりに前年実績を上回った。

主要な品目別にみると、原動機（前年同月比 19.3%減）が4か月連続、エアコン（同 74.3%減）が8か月連続で前年実績を下回ったものの、自動車（同 45.7%増）が13か月連続、自動車の部分品（同 16.4%増）が7か月連続、二輪自動車類（同 10.3%増）が4か月連続、科学光学機器（同 4.2%増）が5か月ぶりに前年実績を上回った。

地域別にみると、米国向け（同 12.7%減）が4か月連続で前年実績を下回ったものの、アジア向け（同 12.0%増）が14か月ぶり、EU向け（同 8.6%増）が2か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R5年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月
輸出総額(百万円)	224,383	234,264	199,106	230,788	250,121	238,157	235,745	188,141
前年同月比(%)	0.0	2.1	▲4.8	7.5	0.6	▲2.7	▲5.0	5.0

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R5年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月
原動機	▲17.2	2.8	▲14.2	21.2	▲11.8	▲0.3	▲25.1	▲19.3
エアコン	▲18.2	▲20.6	▲12.5	▲36.6	▲43.7	▲51.1	▲73.2	▲74.3
自動車	53.0	60.0	69.4	65.9	133.3	76.0	36.6	45.7
自動車の部分品	▲10.7	36.1	18.2	49.0	39.2	29.2	37.4	16.4
二輪自動車類	29.4	▲7.6	▲36.5	▲3.8	15.0	20.9	11.1	10.3
科学光学機器	▲0.1	0.6	9.1	▲15.1	▲1.9	▲8.6	▲12.3	4.2

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R5年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月
アジア	▲13.1	▲10.4	▲8.0	▲9.0	▲10.1	▲6.1	▲3.1	12.0
米国	▲7.2	▲0.1	▲15.3	11.2	▲5.2	▲6.1	▲8.5	▲12.7
EU	25.4	24.2	9.4	22.7	25.7	6.4	▲6.1	8.6

<資料>清水税関支署

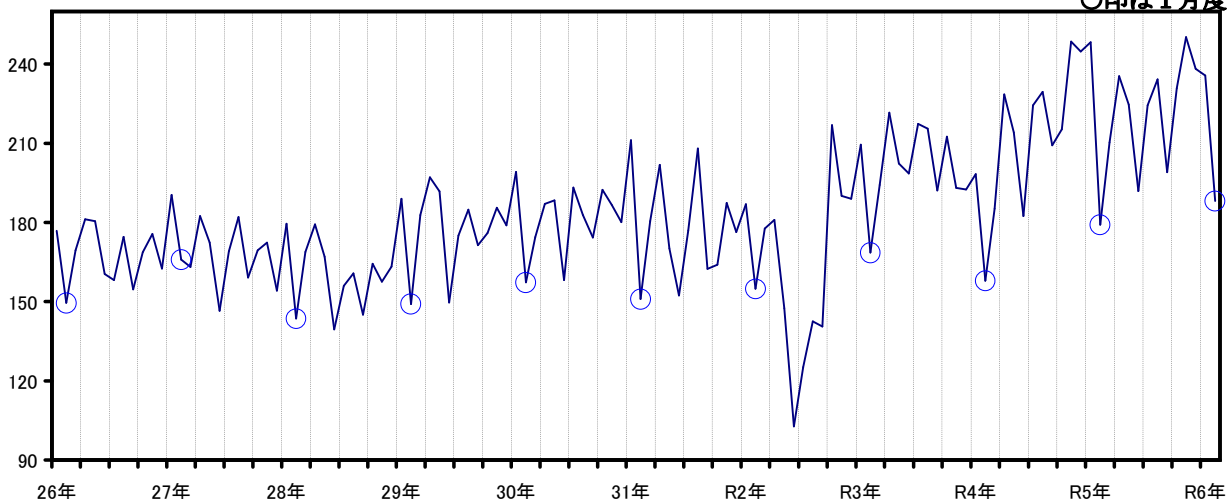
(注) 管内とは、清水港(焼津、沼津、浜松、興津の各出張所及び下田監視所含む)、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4つをいう。
なお、数値は、通関手続きが行われた金額である。輸入も同様。

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸出額(十億円)

<資料>清水税関支署

○印は1月度



6 輸入

1月 = 148,051百万円

*前年同月比： 8.4%増

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

1月の清水税関支署管内の輸入総額は148,051百万円で、前年同月比 8.4%増となり、10か月ぶりに前年実績を上回った。

主要な品目別にみると、魚介類及び同調製品（前年同月比 11.1%減）が8か月連続、木材（同 37.0%減）が2か月ぶり、パルプ（同 50.9%減）が4か月連続で前年実績を下回ったものの、紙類及び同製品（同 33.6%増）が2か月ぶり、原動機（同 36.2%増）が2か月連続、自動車の部分品（同 39.0%増）が10か月連続で前年実績を上回った。

地域別では、アジアから（同 12.5%減）が7か月連続、EUから（同 42.9%減）が3か月連続で前年実績を下回ったものの、米国から（同 353.9%増）が2か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R5年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月
輸入総額(百万円)	124,354	111,552	107,006	114,051	117,016	122,783	113,503	148,051
前年同月比(%)	▲7.7	▲7.2	▲16.5	▲14.2	▲18.1	▲12.3	▲23.4	8.4

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R5年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月
魚介類及び同調製品	▲27.1	▲18.7	▲16.0	▲4.8	▲29.4	▲38.6	▲25.3	▲11.1
木材	▲45.5	▲35.5	▲32.3	▲33.4	▲36.6	▲26.3	2.5	▲37.0
パルプ	▲25.0	▲41.1	▲40.9	1.3	▲48.9	▲19.8	▲57.3	▲50.9
紙類及び同製品	▲12.8	7.3	5.9	35.2	▲11.1	16.1	▲28.3	33.6
原動機	▲25.4	2.7	▲11.8	23.4	▲13.9	▲11.0	29.8	36.2
自動車の部分品	53.4	38.2	25.5	28.1	17.4	28.8	40.1	39.0

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R5年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月
アジア	8.3	▲4.8	▲2.5	▲24.0	▲14.3	▲8.0	▲2.5	▲12.5
米国	▲22.1	18.7	13.0	▲30.6	34.3	2.2	▲71.4	353.9
EU	▲9.5	12.9	▲31.7	▲12.0	8.2	▲20.5	▲44.7	▲42.9

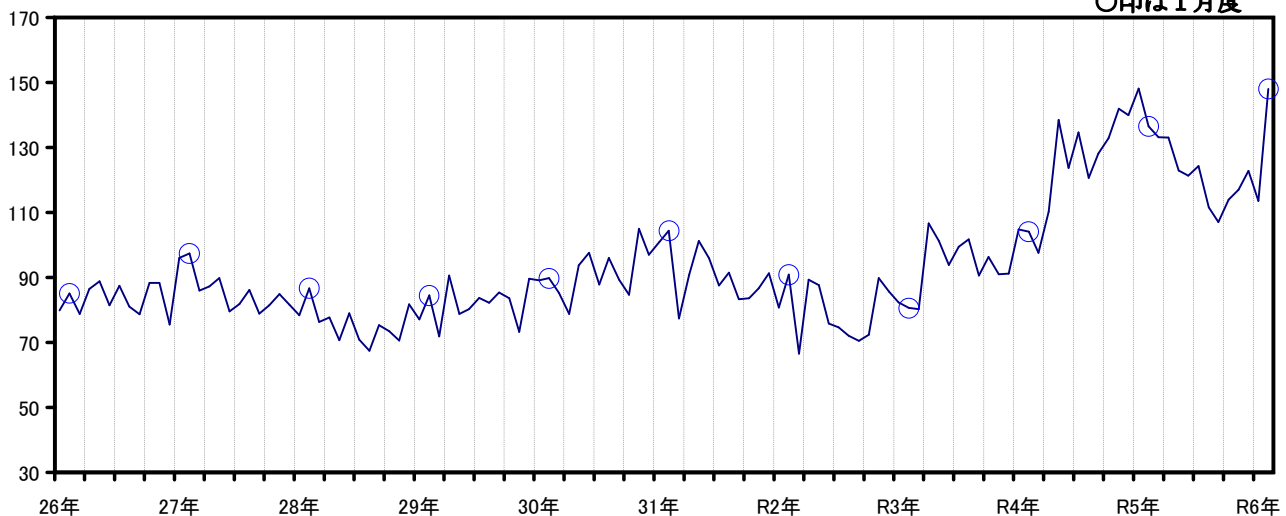
<資料>清水税関支署

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸入額(十億円)

<資料>清水税関支署

○印は1月度



生産面

1 生産

(1) 鉱工業生産指数

1 月 = 91.5

(令和2年=100、鉱工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 8.0%減

*前年同月比(原指数) : 3.1%減

<概況>

1月の鉱工業生産指数(総合)は91.5(季節調整済指数)で、前月比は8.0%減と、3か月連続で減少した。また、前年同月比(原指数)は3.1%減と、3か月連続で前年水準を下回った。業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械(前年同月比1.5%増)が3か月ぶり、化学(同2.3%増)が6か月ぶり、パルプ・紙・紙加工品(同0.8%増)が15か月ぶりに前年水準を上回ったものの、電気機械(同6.6%減)が2か月連続、輸送機械(同2.0%減)が11か月ぶり、食料品・たばこ(同7.6%減)が8か月連続で前年水準を下回った。

<最近の動き>

	R5年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月
指数	103.3	100.1	97.0	96.4	103.5	101.2	99.5	91.5
前月比(%)	1.9	▲3.1	▲3.1	▲0.6	7.4	▲2.2	▲1.7	▲8.0
前年同月比(%)	3.3	▲1.7	▲4.9	▲8.8	0.5	▲1.2	▲6.5	▲3.1
(参考)全国前年同月比(%)	0.0	▲2.3	▲4.4	▲4.4	1.1	▲1.4	▲1.0	▲1.5

(注)令和2年=100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鉱工業生産指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R5年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月
はん用・生産用・業務用機械工業	▲7.0	▲1.9	▲2.5	▲5.1	0.2	▲7.5	▲5.6	1.5
電気機械工業	11.8	▲11.4	▲14.3	▲25.4	▲1.0	1.5	▲4.2	▲6.6
輸送機械工業	6.8	0.5	0.8	2.4	10.9	4.0	4.7	▲2.0
化学工業	21.3	10.2	▲4.9	▲18.5	▲6.6	▲10.1	▲30.4	2.3
パルプ・紙・紙加工品工業	▲5.3	▲4.3	▲2.3	▲5.1	▲5.0	▲1.0	▲1.0	0.8
食料品・たばこ工業	▲7.7	▲4.8	▲5.7	▲4.9	▲0.3	▲1.4	▲4.2	▲7.6

(注)令和2年=100、鉱工業総合、前年同月比:原指数

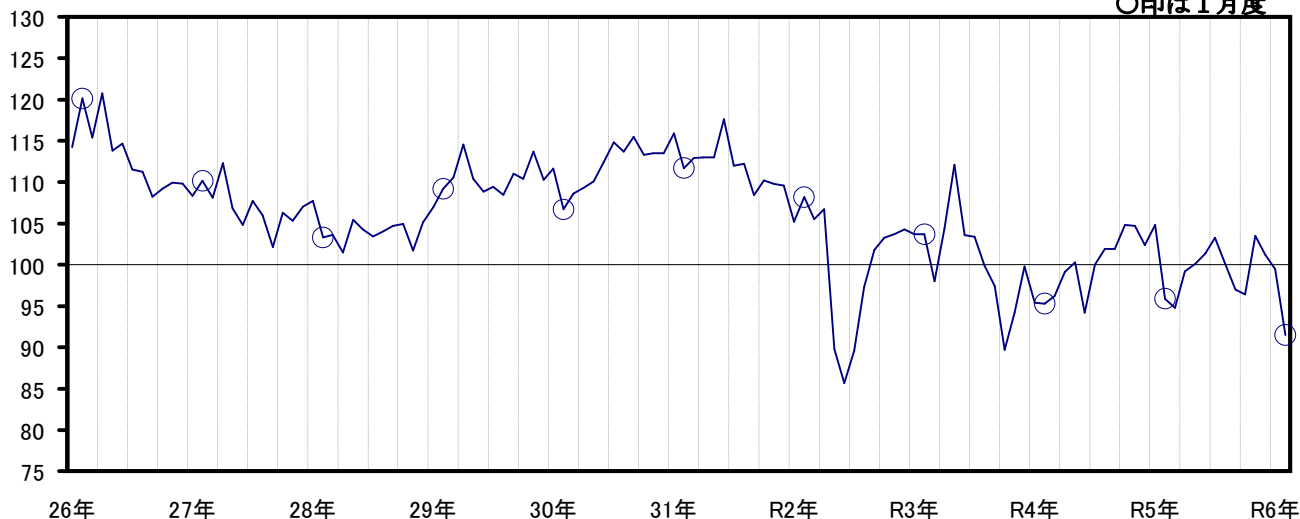
<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鉱工業生産指数(総合、令和2年=100)

<資料>県統計調査課

○印は1月度



(2) 鋳工業在庫指数

1 月 = 101.9

(令和2年=100、鋳工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 3.0%減

*前年同月比(原指数) : 1.4%減

<概況>

1月の鋳工業在庫指数(総合)は101.9(季節調整済指数)で、前月比は3.0%減と、2か月連続で減少した。また、前年同月比(原指数)は1.4%減と、2か月ぶりに前年水準を下回った。
 なお、在庫動向を在庫循環図で見ると、今期は「在庫調整局面(景気後退期)」に該当する。
 業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械(前年同月比7.7%増)が2か月連続、パルプ・紙・紙加工品(同2.2%増)が3か月連続、食料品・たばこ(同3.4%増)が15か月連続で前年水準を上回ったものの、電気機械(同4.0%減)、化学(同13.2%減)がいずれも5か月連続、輸送機械(同7.4%減)が7か月連続で前年水準を下回った。

<最近の動き>

	R5年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月
指数	108.1	102.8	105.4	104.2	104.0	105.5	105.1	101.9
前月比(%)	▲0.2	▲4.9	2.5	▲1.1	▲0.2	1.4	▲0.4	▲3.0
前年同月比(%)	8.8	1.3	3.1	1.2	▲0.4	▲2.3	0.2	▲1.4
(参考)全国前年同月比(%)	5.9	5.7	3.2	0.2	1.0	1.0	▲0.2	▲1.8

(注)令和2年=100、鋳工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鋳工業在庫指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R5年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月
はん用・生産用・業務用機械工業	21.8	21.8	18.8	12.6	16.0	▲7.9	15.3	7.7
電気機械工業	12.2	9.9	1.2	▲6.6	▲10.4	▲5.8	▲5.4	▲4.0
輸送機械工業	8.4	▲24.4	▲6.2	▲4.1	▲12.5	▲9.4	▲8.3	▲7.4
化学工業	3.1	0.2	2.0	▲1.7	▲7.4	▲6.8	▲10.3	▲13.2
パルプ・紙・紙加工品工業	▲0.3	▲3.4	▲0.3	1.0	▲0.2	2.7	2.3	2.2
食料品・たばこ工業	13.6	7.1	1.2	0.9	6.4	5.9	3.6	3.4

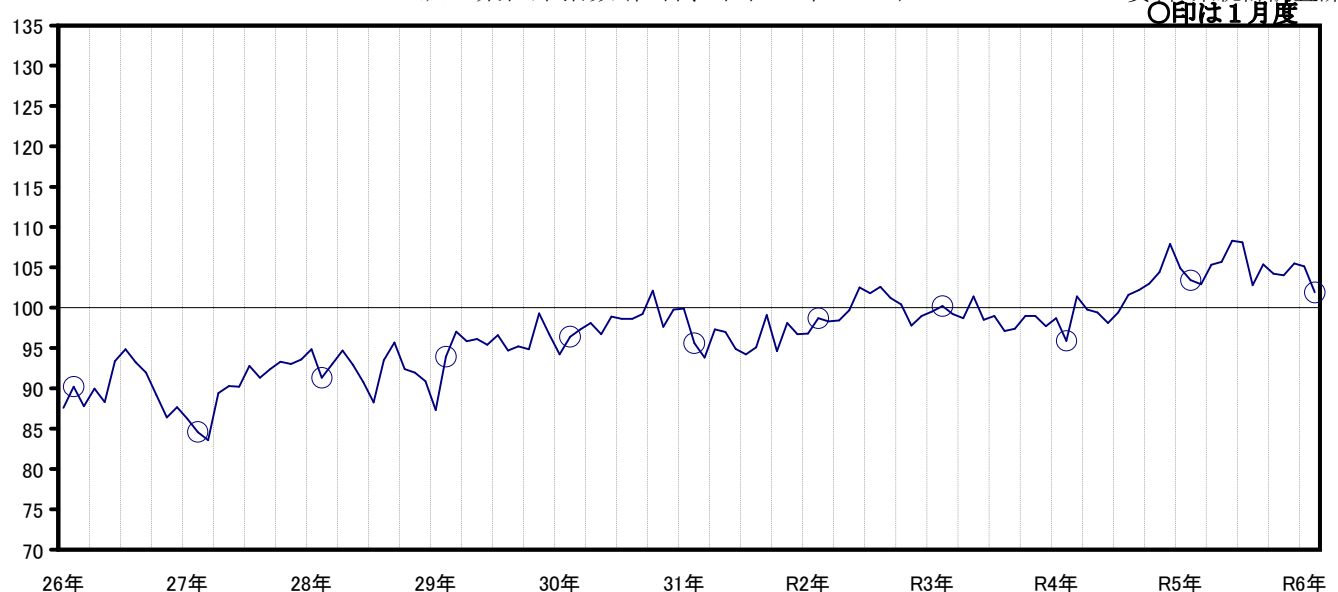
(注)令和2年=100、鋳工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鋳工業在庫指数(総合、令和2年=100)

<資料>県統計調査課



雇 用 面

1 雇 用

(1) 有効求人倍率

1 月 = 1.21倍

*前月比 (季節調整値) : 0.00ポイント増

(季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む)

<概 況>

1月の有効求人倍率(季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む)は1.21倍となり、前月と同水準となった。36か月連続で1倍台となった。また、全国値を0.06ポイント下回った。新規求人(学卒、パートタイムを除く)(前年同月比 3.9%増)は8か月ぶりに前年実績を上回った。

産業別にみると、製造業(前年同月比 7.6%減)が15か月連続、運輸業・郵便業(同 13.9%減)、サービス業(他に分類されないもの)(同 12.7%減)がいずれも2か月ぶり、医療・福祉(同 8.0%減)が3か月ぶりに前年実績を下回ったものの、建設業(同 2.5%増)が2か月連続、情報通信業(同 26.8%増)が4か月連続、卸売業・小売業(同 96.2%増)が3か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

(単位:倍)

	R 5年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R 6年1月
県	1.26	1.22	1.20	1.19	1.20	1.21	1.21	1.21
全 国	1.30	1.29	1.29	1.29	1.30	1.28	1.27	1.27

(注)季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む

<産業別新規求人前年同月比の推移>

(単位:%)

	R 5年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R 6年1月
建設業	▲ 3.2	▲ 10.9	▲ 3.0	2.8	▲ 16.5	▲ 1.0	14.9	2.5
製造業	▲ 16.8	▲ 9.6	▲ 15.8	▲ 12.4	▲ 14.7	▲ 10.5	▲ 9.6	▲ 7.6
情報通信業	▲ 22.6	7.0	15.9	▲ 13.8	23.3	3.5	43.0	26.8
運輸業・郵便業	▲ 9.5	▲ 1.3	▲ 4.5	▲ 2.5	1.0	▲ 2.2	24.0	▲ 13.9
卸売業・小売業	▲ 2.2	40.0	▲ 4.4	▲ 13.6	67.3	▲ 2.1	▲ 35.0	96.2
医療・福祉	▲ 0.6	3.7	▲ 2.5	▲ 10.5	▲ 4.6	2.9	0.8	▲ 8.0
サービス業(他に分類されないもの)	6.7	▲ 12.3	12.2	4.1	▲ 12.6	▲ 4.2	8.7	▲ 12.7
合 計	▲ 4.9	▲ 1.0	▲ 3.9	▲ 7.9	▲ 0.1	▲ 4.5	▲ 1.2	3.9

(注)学卒、パートタイムを除く

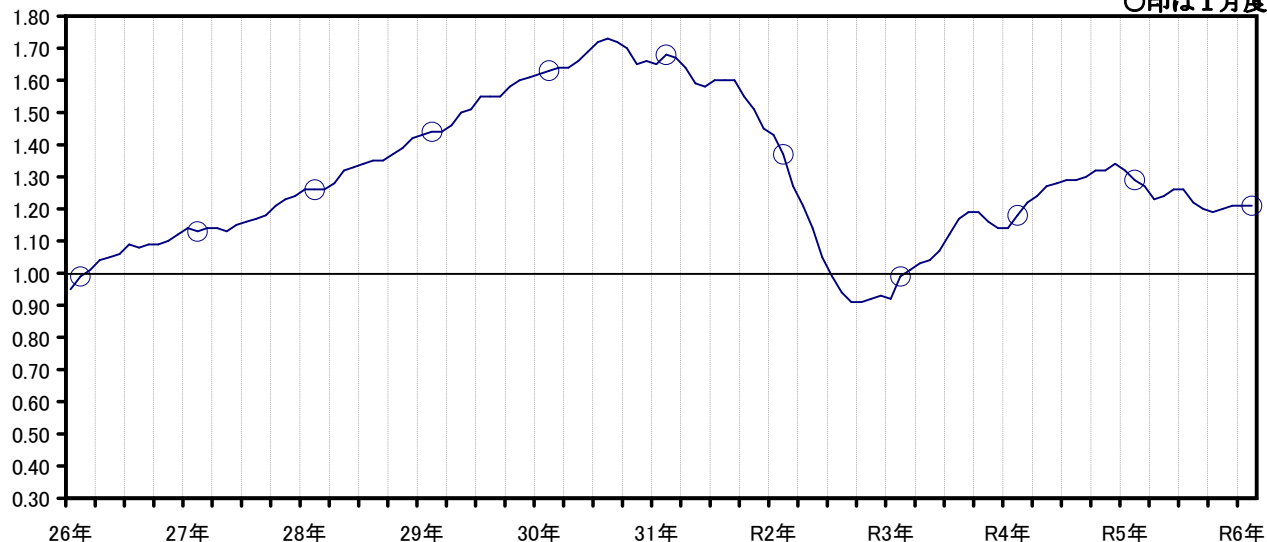
<資料>厚生労働省

<過去10年間の推移>

有効求人倍率(学卒を除き、パートタイムを含む)(倍)

<資料>厚生労働省

○印は1月度



(2) 雇用保険受給者実人員

1月 = 11,466人

*前月比: 1.1%減

*前年同月比: 8.9%増

<概況>

1月の雇用保険受給者実人員は11,466人で、前月比は1.1%減と、3か月連続で前月を下回った。また、前年同月比は8.9%増と10か月連続で前年実績を上回った。

完全失業率(全国)は2.4%と前月と同水準であった。

静岡県(令和5年10~12月)の完全失業率は1.9%で、前期(令和5年7~9月)から0.2ポイント改善した。

<最近の動き>

	R5年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月
実人員(人)	12,069	12,704	13,329	12,705	12,813	12,014	11,597	11,466
前月比(%)	11.4	5.3	4.9	▲4.7	0.9	▲6.2	▲3.5	▲1.1
前年同月比(%)	5.0	6.3	6.1	6.0	13.8	11.0	9.9	8.9
(参考)全国前年同月比(%)	3.1	6.0	3.4	2.6	7.9	6.0	4.5	5.6

<資料>厚生労働省

<参考 完全失業率(全国)の推移>

	R5年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月
完全失業率(全国)(%)	2.5	2.7	2.7	2.6	2.5	2.5	2.4	2.4

(注)季節調整値

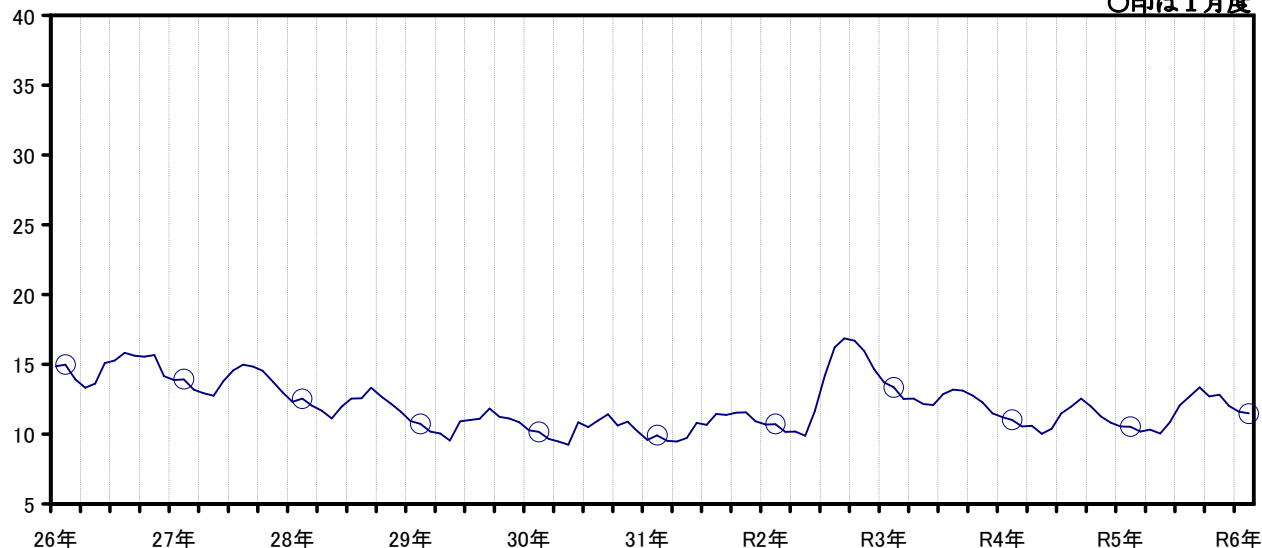
<資料>総務省統計局

<過去10年間の推移>

雇用保険受給者実人員(千人)

<資料>厚生労働省

○印は1月度



(3) 所定外労働時間指数

12月 = 119.1

*前月比(季節調整済指数): 1.4%減

(令和2年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、季節調整済) *前年同月比(原指数) : 1.5%減

<概況>

12月の所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、調査産業計)は119.1(季節調整済指数)で、2か月連続で前月を下回った。また、前年同月比(原指数)は1.5%減と、25か月ぶりに前年実績を下回った。

業種別にみると、製造業(前年同月比2.6%増)が5か月連続、運輸業・郵便業(同11.6%増)が9か月連続で前年実績を上回ったものの、建設業(同22.7%減)が2か月ぶり、情報通信業(同11.7%減)、医療・福祉(同20.5%減)がいずれも2か月連続、卸売業・小売業(同6.8%減)、その他のサービス業(同22.2%減)がいずれも12か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R5年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
指数	122.9	127.1	119.6	116.6	124.7	125.6	120.8	119.1
前月比(%)	4.3	3.4	▲5.9	▲2.5	6.9	0.7	▲3.8	▲1.4
前年同月比(%)	2.6	8.7	2.5	0.0	4.1	3.2	1.6	▲1.5
(参考)全国前年同月比(%)	0.0	▲1.6	▲0.8	▲0.9	▲1.7	▲0.9	▲2.4	▲4.0

*令和2年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、指数:季節調整済指数、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<県内業種別所定外労働時間指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R5年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
建設業	▲7.8	37.8	18.7	▲14.6	19.9	▲17.6	17.2	▲22.7
製造業	3.9	10.5	0.0	2.2	0.7	1.9	3.2	2.6
情報通信業	▲4.6	16.6	▲17.1	17.5	10.4	10.4	▲4.2	▲11.7
運輸業・郵便業	3.5	4.6	7.3	7.4	2.3	8.0	11.4	11.6
卸売業・小売業	▲35.9	▲25.6	▲23.2	▲32.6	▲23.2	▲22.1	▲13.0	▲6.8
医療・福祉	0.0	10.8	4.3	1.4	8.1	4.2	▲11.2	▲20.5
その他のサービス業	▲20.5	▲19.7	▲15.2	▲7.7	▲12.7	▲17.4	▲24.2	▲22.2
調査産業計	2.6	8.7	2.5	0.0	4.1	3.2	1.6	▲1.5

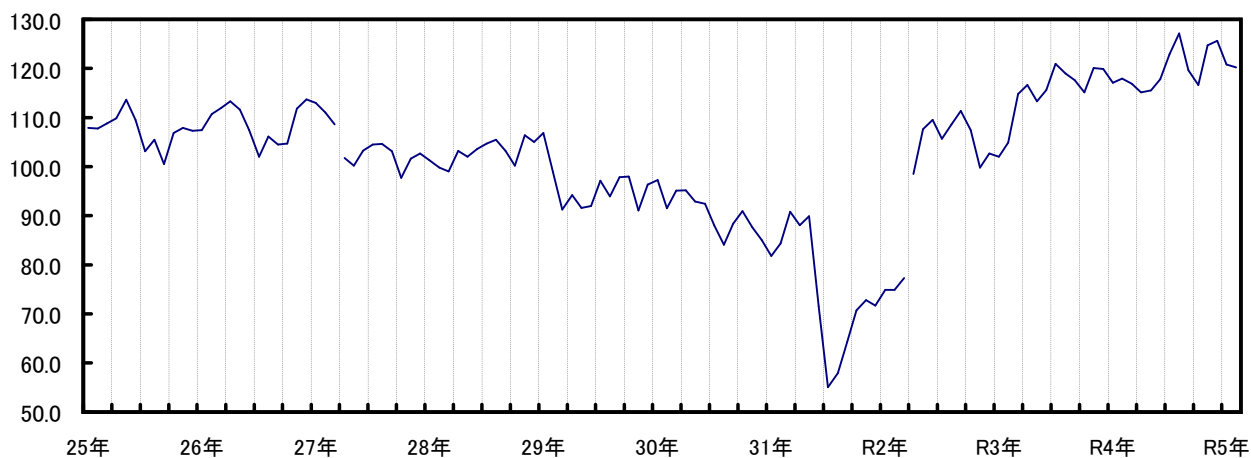
*令和2年=100、事業所規模30人以上、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、令和2年=100)

<資料>県統計調査課



そ の 他

1 物 価

国内企業物価指数

2 月 = 120.3

(令和2年=100)

*前月比: 0.2%上昇

*前年同月比: 0.6%上昇

<概況>

1月の国内企業物価指数は120.3となり、前月比は0.2%の上昇となった。また、前年同月比は0.6%の上昇となった。

	R5年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月
国内企業物価指数	119.5	119.8	119.6	119.5	119.8	120.1	120.1	120.3
前月比 (%)	0.3	0.3	▲0.2	▲0.1	0.3	0.3	0.0	0.2
前年同月比 (%)	3.6	3.4	2.2	1.1	0.5	0.2	0.2	0.6

<資料>日本銀行

2 金 融

(1) 県内金融機関貸出残高

1 月 = 142,309億円

(銀行、信用金庫)

*前月比: 0.8%減

*前年同月比: 0.5%減

<概況>

1月末の県内の銀行と信用金庫の貸出残高は142,309億円で、前月比とは0.8%の減少となった。また、前年同月比は0.5%の減少となった。

	R5年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月
貸出残高(億円)	142,709	142,257	142,029	142,841	142,035	142,268	143,418	142,309
前月比 (%)	▲0.1	▲0.3	▲0.2	0.6	▲0.6	0.2	0.8	▲0.8
前年同月比 (%)	0.2	▲0.3	▲0.4	▲0.3	▲0.6	▲0.6	▲0.3	▲0.5

<資料>日本銀行静岡支店

(2) 貸出約定金利

1 月 = 1.254%

(県内地銀4行総平均)

*前月差: 0.000ポイント増

*前年同月差: 0.044ポイント減

<概況>

1月の県内地銀4行総平均の貸出約定金利(総合)は1.254%で、前月と同水準となった。なお、前年同月差は0.044ポイントのマイナスとなった。

	R5年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月
貸出約定金利 (%)	1.279	1.272	1.269	1.266	1.265	1.260	1.254	1.254
前月差(ポイント)	▲0.007	▲0.007	▲0.003	▲0.003	▲0.001	▲0.005	▲0.006	0.000
前年同月差(ポイント)	▲0.055	▲0.057	▲0.053	▲0.053	▲0.051	▲0.048	▲0.049	▲0.044

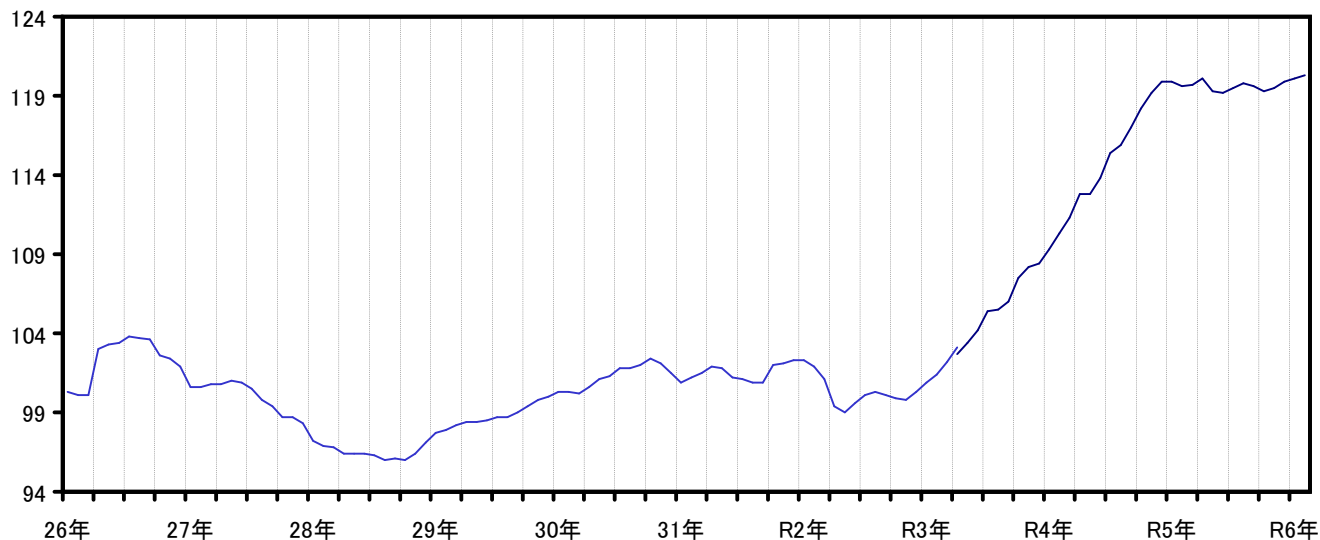
(注) 貸出約定金利は、金融庁報告ベースに過去に遡及して変更

<資料>日本銀行静岡支店

<過去10年間の推移>

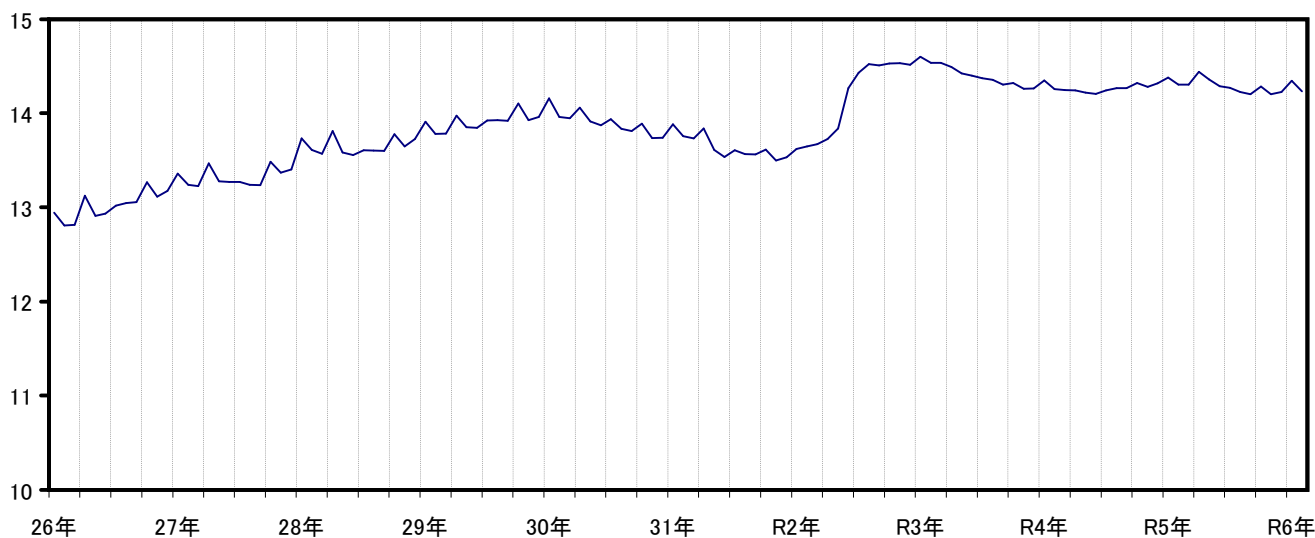
国内企業物価指数(令和2年=100)

<資料>日本銀行



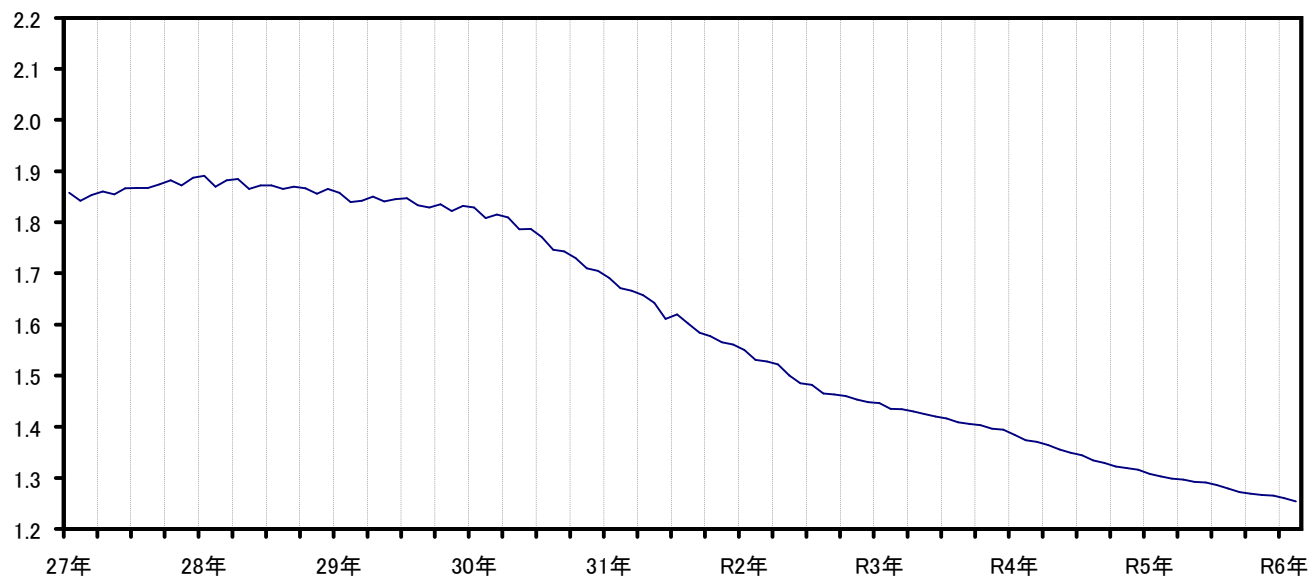
県内金融機関貸出残高(兆円)

<資料>日本銀行静岡支店



県内地銀平均貸出約定金利(%)

<資料>日本銀行静岡支店



(3) 信用保証協会保証金額**1月 = 21,251百万円**

*前年同月比： 20.1%増

<概況>

1月の保証承諾は、金額は21,251百万円（前年同月比 20.1%増）、件数は1,535件（同 10.2%増）と、いずれも前年実績を上回った。

	R 5年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R 6年1月
保証金額（百万円）	28,390	25,377	26,616	23,777	22,088	25,577	31,745	21,251
前年同月比（%）	▲ 15.3	8.2	4.7	▲ 11.1	24.0	6.9	▲ 1.6	20.1
保証件数（件）	2,066	1,881	1,971	1,860	1,670	1,763	2,240	1,535
前年同月比（%）	1.8	8.1	0.6	▲ 13.2	10.6	▲ 3.7	▲ 3.8	10.2

<資料>県信用保証協会

(4) 円相場**2月 = 149.42円/ドル**

*前月差： 2.85円安

（東京・銀行間直物中心・平均）

*前年同月差： 16.74円安

<概況>

2月の東京外国為替市場での対ドル平均円相場（銀行間直物）は149.42円で、前月と比べて 2.85円の円安となり、2か月連続で円安となった。

<最近の動き>

	R 5年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R 6年1月	2月
平均相場（円）	141.21	144.77	147.67	149.53	149.83	144.07	146.57	149.42
前月差（円）	0.02	3.56	2.90	1.86	0.30	▲ 5.76	2.50	2.85
前年同月差（円）	4.58	9.53	4.53	2.52	7.39	9.14	16.37	16.74

▲…円高

（注）東京外国為替相場・銀行間直物中心相場・平均

3 企業経営**企業倒産件数****2月 = 9件**

*前年同月比： 52.6%減

<概況>

2月の負債総額 1,000万円以上の企業倒産は、件数は9件（前年同月比 52.6%減）、負債総額は990百万円（同 26.9%減）と、いずれも前年実績を下回った。

原因別にみると、販売不振を原因とするいわゆる「不況型倒産」が8件と全体の88.9%を占め、19か月連続で50%以上となっている。

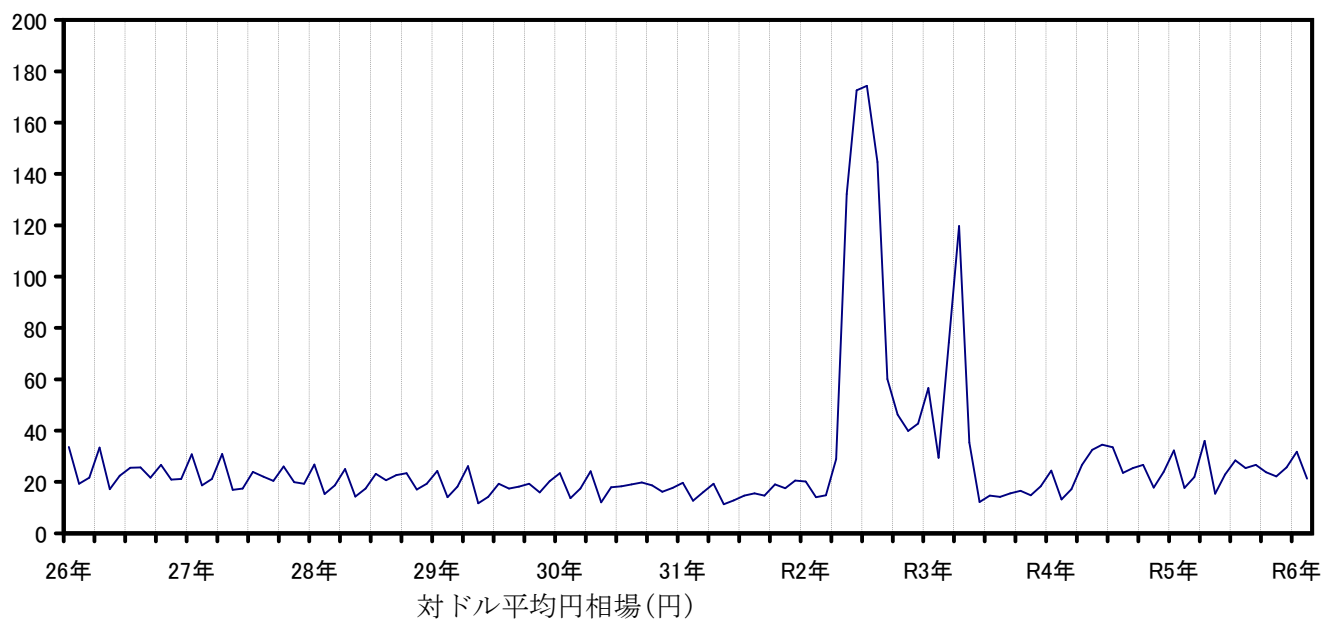
	R 5年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R 6年1月	2月
倒産件数（件）	24	15	31	17	19	19	15	9
前年同月比（%）	380.0	66.6	93.7	▲ 22.7	35.7	5.5	▲ 21.0	▲ 52.6
うち不況型倒産件数（件）	19	13	25	13	17	14	10	8
負債総額（百万円）	19,697	2,247	1,666	6,592	2,885	2,062	1,219	990
前年同月比（%）	11,155.4	8.0	34.3	152.2	▲ 79.6	▲ 26.6	▲ 39.5	▲ 26.9

<資料>（株）東京商工リサーチ静岡支社

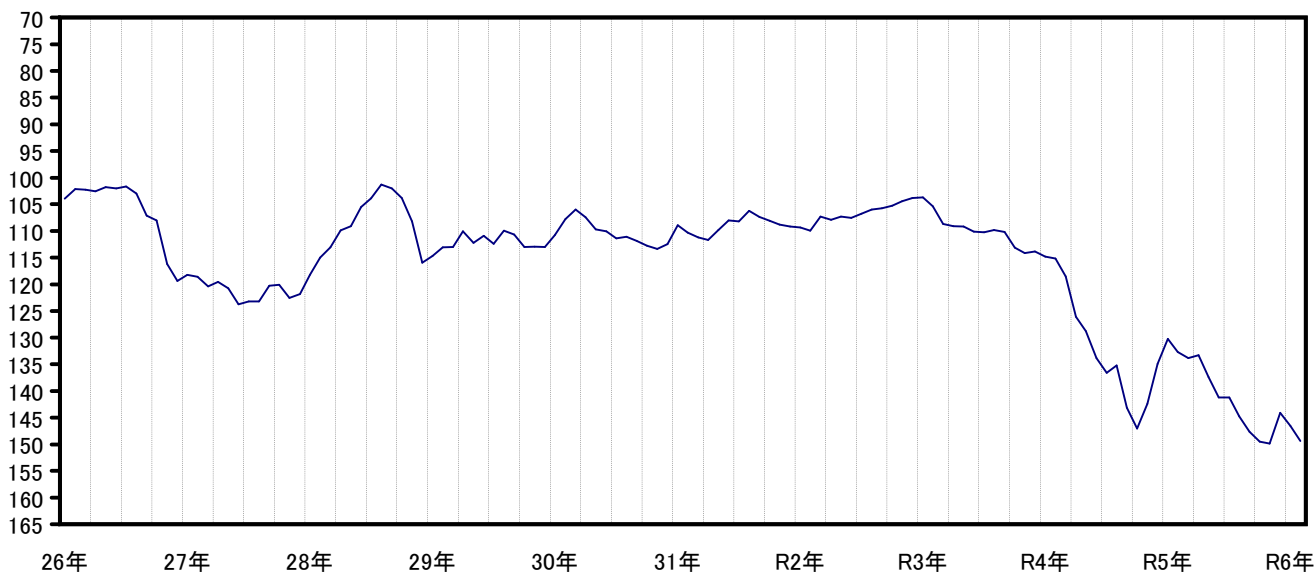
<過去10年間の推移>

信用保証協会保証承諾金額(十億円)

<資料>県信用保証協会

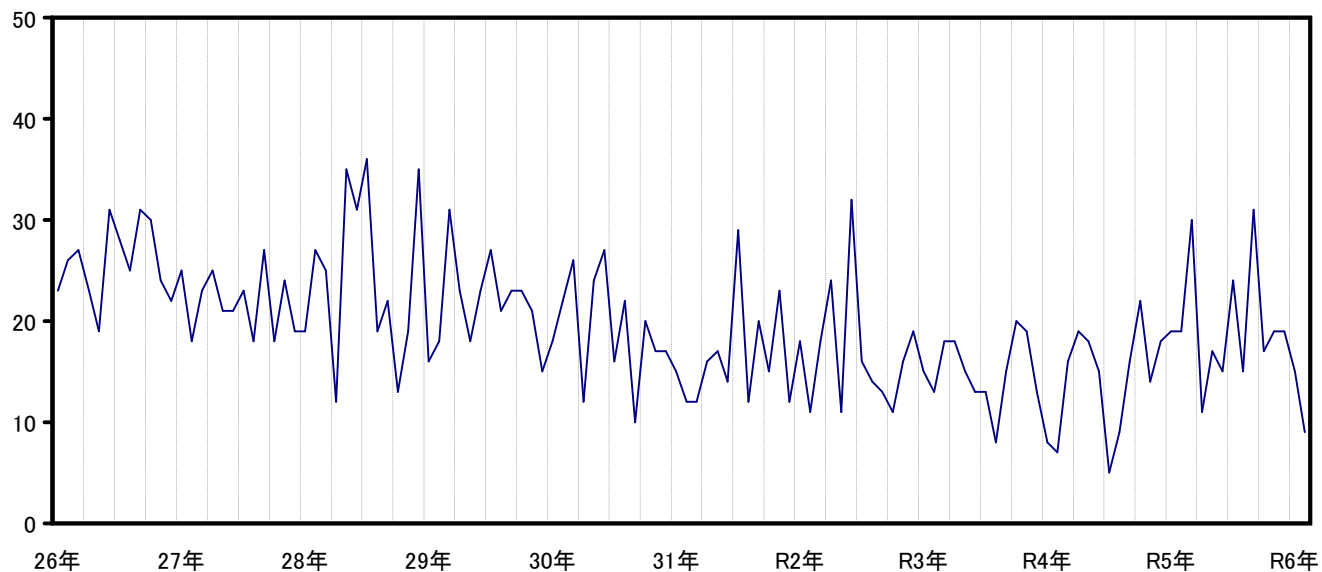


対ドル平均円相場(円)



企業倒産件数(件)

<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社



Ⅲ 令和6年1月を中心とした静岡県主要産業の動向

業 種	産 業 動 向
二 輪 車	<p>12月の国内二輪車生産台数は、58,146台（前年同月比11.6%減）で、6か月連続で前年実績を下回った。原付第一種（50cc以下）は、5,916台（同54.0%減）で、11か月連続で前年実績を下回った。原付第二種（51cc～125cc）は、4,068台（同5.1%増）で、3か月連続で前年実績を上回った。軽二輪車（126cc～250cc）は、3,209台（同27.4%減）で2か月連続で前年実績を下回った。小型二輪車（251cc以上）は、44,953台（同0.7%増）で、3か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>出荷台数は、国内向けは、28,258台（同8.6%増）で、2か月ぶりに前年実績を上回った。輸出向けは、53,940台（同18.0%減）で、3か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
自 動 車	<p>12月の自動車国内生産台数は、741,457台（前年同月比 6.1%増）と、12か月連続で前年実績を上回った。輸出は432,532台（同 21.2%増）と、11か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>国内生産は、トラックが7か月連続で前年実績を下回ったものの、乗用車が12か月連続で前年実績を上回ったことから、全体でも12か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
電気機械	<p>1月の冷蔵庫の国内出荷額は275億円（前年同月比10.5%減）で、2か月ぶりに前年実績を下回り、国内出荷台数は217千台（同 6.8%減）で、2か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>1月のエアコンの国内出荷台数は、家庭向けは507千台（同 3.9%増）で、5か月連続で前年実績を上回った。業務用は55千台（同 3.7%増）で、5か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>1月の携帯電話の国内出荷台数は、461千台（同 24.4%減）で、9か月連続で前年実績を下回った。うち、スマートフォンは、328千台（同 24.5%減）で、16か月連続で前年実績を下回った。単月のスマートフォン比率は71.1%であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、J E I T A / C I A J</p>
生産用機械	<p>1月の工作機械の受注総額は、1,109億6,000万円（前年同月比 14.0%減）で、13か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>内訳をみると、外需は803億5,700万円（同 6.2%減）で、13か月連続で前年実績を下回った。アジア向けが368億1,500万円（同 0.7%減）で、13か月連続で前年実績を下回った。内需は306億300万円（同 29.5%減）で、17か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>県内関連団体からは、「輸出に一部持ち直しの動きがみられたものの、物価上昇や海外景気の下振れによる景気の下押し圧力が続いたため、親会社の受注が減少。そのために親会社の内製化が進み、取引先の仕事量が減少した。」という声が聞かれた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本工作機械工業会、静岡県中小企業団体中央会</p>

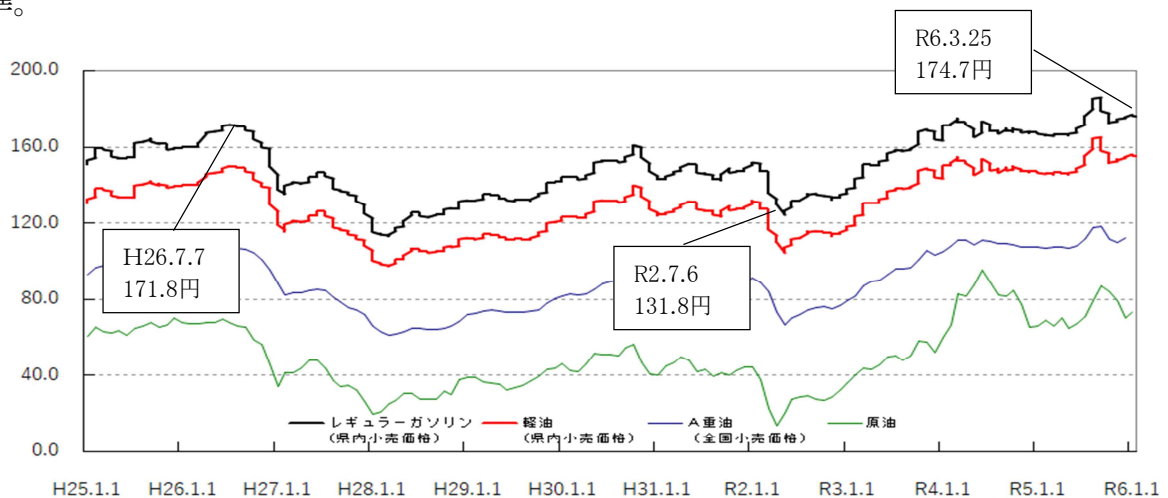
業 種	産 業 動 向
楽 器	<p>1月の県内楽器メーカーの販売金額は、47億3,515万円（前年同月比8.6%増）で、2か月連続で前年実績を上回った。内訳は輸出向けが29億1,513万円（同8.1%増）で、3か月ぶりに前年実績を上回り、国内向けが18億2,001万円（同9.5%増）で、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>ピアノ生産台数は2,383台（同17.5%減）で、7か月連続で前年実績を下回った。機種別では、アップライトピアノが1,342台（同28.8%減）、グランドピアノが1,041台（同3.9%増）であった。また、販売台数は、輸出向けが1,891台（同5.6%減）で、7か月連続で前年実績を下回り、国内向けが914台（同8.8%増）で、7か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県楽器製造協会</p>
紙	<p>1月の紙・板紙の国内出荷高は、1,515千ト（前年同月比8.5%減）で、17か月連続で前年実績を下回った。内訳は、紙は738千ト（同12.4%減）で、17か月連続で前年実績を下回った。板紙は777千ト（同4.6%減）と、16か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>品種別では、主力の印刷・情報用紙が、380千ト（同17.5%減）で、17か月連続で前年実績を下回った。ティッシュペーパー、トイレットペーパー等の家庭紙は、135千ト（同4.3%減）と、7か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本製紙連合会「紙・板紙需給速報」</p>
缶詰・飲料	<p>1月の県内生産量は、食缶類が国内向け855千箱（前年同月比6.4%減）と12か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>分類別で見ると、水産缶（国内向け）は616千箱（同0.8%減）と8か月連続で前年実績を下回った。うち主力であるツナ缶は378千箱（同4.0%減）と、8か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>農畜産缶（国内向け）は239千箱（同18.4%減）と4か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>飲料缶類は、国内向けが5,292千箱（同4.5%増）と、2か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県缶詰協会</p>
織 維	<p>1月の広幅織物の県内生産は、983千㎡（前年同月比31.5%増）で、5か月連続で前年実績を上回った。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、948千㎡（同36.6%増）で、6か月連続で前年実績を上回った。別珍・コールテンの生産は、35千㎡（同35.0%減）で、3か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>小幅織物の県内生産は、16千㎡（同1.2%増）で、2か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合</p>
家 具	<p>1月の全国百貨店での家具販売額は、41億9,544万円（前年同月比9.4%増）と3か月連続で前年実績を上回った。また、大型量販店での家具・インテリアの販売額は、545億7,531万円（同13.5%減）と2か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本百貨店協会、日本チェーンストア協会</p>

業 種	産 業 動 向
小 売 業	<p>1月の県内百貨店・スーパーの販売額は、38,659百万円（既存店前年同月比0.8%減）と前年同月の実績を下回った。品目別に見ると、飲食料品が前年同月の実績を上回ったが、衣料品、身の回り品及び家庭用品で前年同月の実績を下回った。</p> <p>西部の百貨店への聞き取りによると、前年同月と比較して来客数は同程度であったが、売上げは減少した。特に、身の回り品の売上げが不調だった。一方、家庭用品や雑貨（化粧品、宝飾・貴金属等）の売上げが好調だった。</p> <p>中部の総合スーパーへの聞き取りによると、前年同月と比較して来客数は減少したが、売上げは前年並みだった。暖冬の影響で衣料品や寝具の需要が落ち込んだことにより来客数が減少した。一方、食料品の売上げが好調であり、おせちは事前予約に加え、元旦の売上げも良かった。</p> <p>県内の食品スーパーへの聞き取りによると、前年同月と比較して売上げ及び来客数が増加した。弁当・総菜の売上げが好調だった。特に、年始は寿司やオードブルの売行きが良かった。</p> <p style="text-align: right;">〈資料〉関東経済産業局、静岡県地域産業課</p>
観 光	<p>令和6年1月の県内主要10観光施設の合計入込客数は約24万人で、前年同月比33.5%減となった。</p> <p>本年の1月は、一部施設が工事休館であったため、入込が大きく減少している。</p> <p>加えて、1月2日と3日の天候不順や寒暖差の大きい月になったことも要因と考えられる。</p> <p>主要有料道路（4路線）の合計通行車両数は、約56万台となり、前年同月比2.9%増となった。</p> <p style="text-align: right;">〈資料〉静岡県観光政策課</p>

＜原油高の状況について＞

新型コロナウイルス感染症からの経済活動再開に伴う需要増大や、海外情勢の不安定化などにより原油価格が上昇。

足もとの県内ガソリン等小売価格は、レギュラー174.7円/Lと、平成20年8月以来の高水準。



出典：石油情報センター

Ⅳ データからみた県内主要産業

<二輪車>

	R5年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月
完成車生産台数(台)	23,336	28,877	16,417	18,694	27,567	28,264	28,959	24,847	22,101
前年同月比(%)	36.8	8.1	▲37.6	▲30.0	▲7.4	▲1.6	▲3.7	▲7.8	▲9.8
KD輸出額(百万円)	1,210	789	1,350	874	1,005	1,319	1,441	1,704	1,413
前年同月比(%)	6.8	▲11.3	36.5	▲3.5	▲16.7	▲19.2	▲11.8	8.4	▲5.3

<楽器>

	R5年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月
生産総額(百万円)	3,439	4,012	3,738	2,919	3,484	3,614	3,510	3,719	2,913
前年同月比(%)	29.0	26.3	16.6	13.0	7.0	9.4	7.1	14.9	3.0

<缶詰>

	R5年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月
食缶生産高(千ケース)	916	982	1,021	954	962	940	1,023	931	855
前年同月比(%)	▲2.2	▲18.5	▲9.4	▲12.1	▲8.8	▲18.6	▲10.2	▲16.3	▲6.4
うち水産缶詰(%)	4.0	▲17.0	▲9.7	▲18.1	▲13.0	▲23.3	▲13.0	▲19.9	▲0.8
農畜産缶詰(%)	▲16.5	▲22.6	▲8.4	5.0	2.5	▲3.9	▲2.4	▲6.2	▲18.4
飲料缶生産高(千ケース)	7,674	7,495	7,353	7,092	7,151	6,618	7,029	6,359	5,292
前年同月比(%)	▲0.2	▲5.4	▲7.2	▲6.0	10.9	▲6.8	9.6	▲1.8	4.5

<繊維>

	R5年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月
広幅織物(千㎡)	644	693	676	674	801	867	1,049	1,000	983
前年同月比(%)	▲4.8	▲6.3	▲8.2	▲0.9	2.0	11.2	16.2	34.0	31.5
小幅織物(千㎡)	20	19	19	15	18	18	18	19	16
前年同月比(%)	15.6	11.2	23.7	12.8	16.1	13.0	8.3	▲5.0	1.2

<観光>

	R5年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月
延べ宿泊者数 (千人泊)	1,724	1,342	1,820	2,435	1,724	1,707	1,841	1,802	1,659
前年同月比(%)	15.4	16.5	7.2	1.2	13.1	14.3	8.0	6.0	17.1
観光施設(10施設)入込 (千人)	543	316	347	439	376	470	458	334	245
前年同月比(%)	▲0.9	19.1	19.9	▲8.8	24.6	6.4	13.9	5.6	▲33.5
有料道路(4路線)通行 量(千台)	607	523	626	693	584	604	621	613	564
前年同月比(%)	▲2.9	▲3.9	2.8	▲1.7	4.0	▲1.4	2.0	▲1.0	2.9

＜特集＞令和5年の静岡県経済を振り返って

1 令和5年の概況

“緩やかな持ち直しが続いた静岡県経済”

令和5年の静岡県経済は、令和4年後半からの回復基調が持続したものの、年の後半には物価高騰等の影響や海外経済の不透明感から、持ち直しの動きに足踏みがみられた。

2 主要経済指標の動向

消費の動向

◎個人消費は、年後半に足踏みがみられたものの、総じて持ち直しの動きが続いた。

令和5年の個人消費の動向をみると、大型小売店販売額は、年間を通じておおむね前年を上回って推移し、年間合計でも前年を上回った。専門量販店等販売額は、年間を通じて前年を上回って推移し、年間合計でも前年を上回った。自動車(新車)新規登録台数は、年間を通じておおむね前年を上回って推移し、年間合計でも前年を上回った。新設住宅着工戸数は、年間を通じておおむね前年を下回って推移し、年間合計でも前年を下回った。

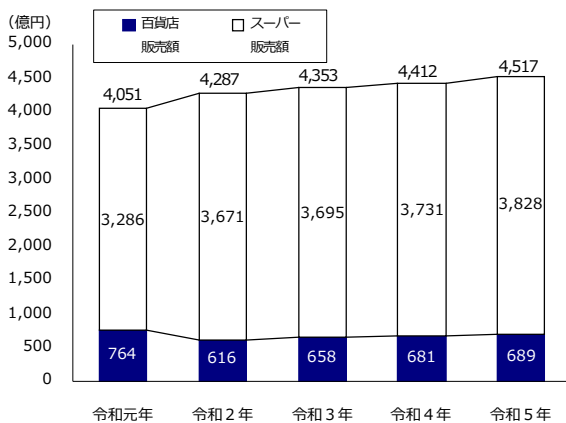
(大型小売店販売額)

大型小売店販売額は、百貨店(全店前年比 1.2%増)、スーパー(同 2.4%増)が増加したことから、全体では4,517億円(同 2.2%増)と、3年連続で増加した。

(専門量販店等販売額)

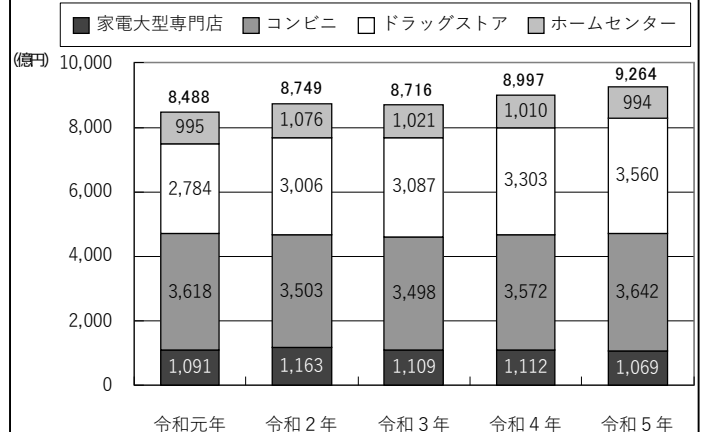
専門量販店等販売額は、家電大型専門店(前年比 3.6%減)、ホームセンター(同 1.6%減)が減少したものの、ドラッグストア(同 7.8%増)、コンビニエンスストア(同 2.0%増)が増加したことから、全体では9,264億円(同 3.0%増)と、2年連続で増加した。

○大型小売店販売額の推移



＜資料＞経済産業省

○専門量販店等販売額の推移



＜資料＞経済産業省

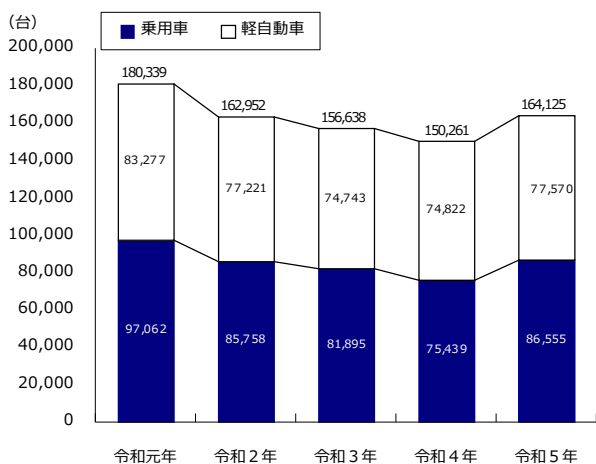
(自動車(新車)新規登録台数)

自動車(新車)新規登録台数は、乗用車(前年比14.7%増)が6年ぶり、軽自動車(同3.7%増)が2年連続で増加したことから、全乗用車では164,125台(同9.2%増)と、5年ぶりに増加した。

(新設住宅着工戸数)

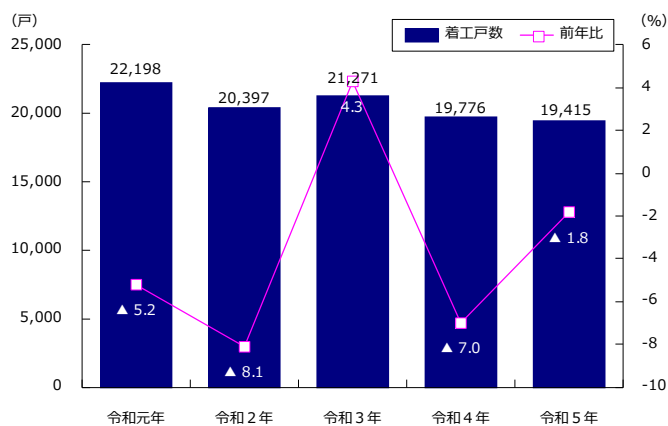
新設住宅着工戸数は、貸家(前年比5.3%増)が3年連続、分譲住宅(同6.5%増)が2年ぶりに増加したものの、持家(同10.0%減)が2年連続で減少したことから、合計では、19,415戸(同1.8%減)と、2年連続で減少した。

○自動車(新車)登録台数の推移



<資料> 県税務課

○新設住宅着工戸数の推移



<資料> 県住まいづくり課

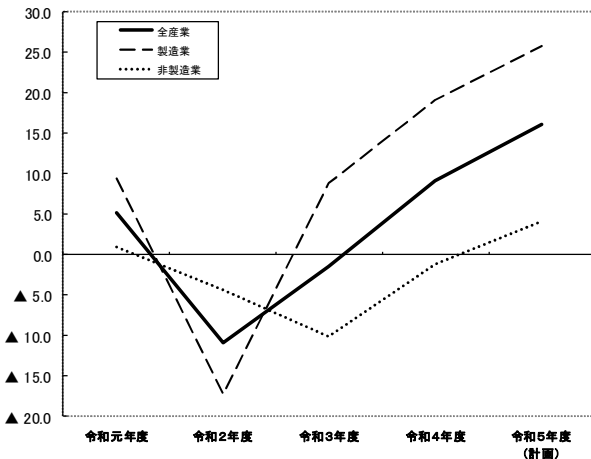
◎公共投資は請負金額、請負件数のいずれも前年を回った。

公共投資は、請負金額は3,325億円(前年比3.1%増)と、3年ぶりに増加し、請負件数は7,439件(同6.9%増)と、3年ぶりに増加した。

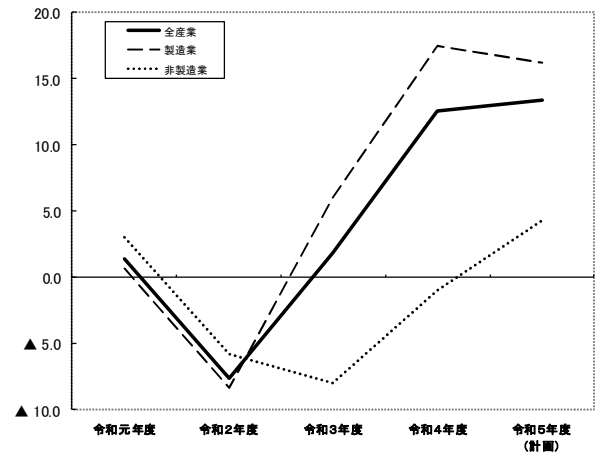
◎設備投資は年間を通じて増加した。

令和5年度の設備投資(含む土地投資)は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加する計画となっている。また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資(除く土地投資)は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加する計画となっている。(日本銀行 企業短期経済観測調査 令和5年12月調査)。

○静岡県の企業短期経済観測調査結果の推移
(設備投資 (含む土地投資))



(ソフトウェア・研究開発を含む設備投資
(除く土地投資))



<資料> 日本銀行静岡支店

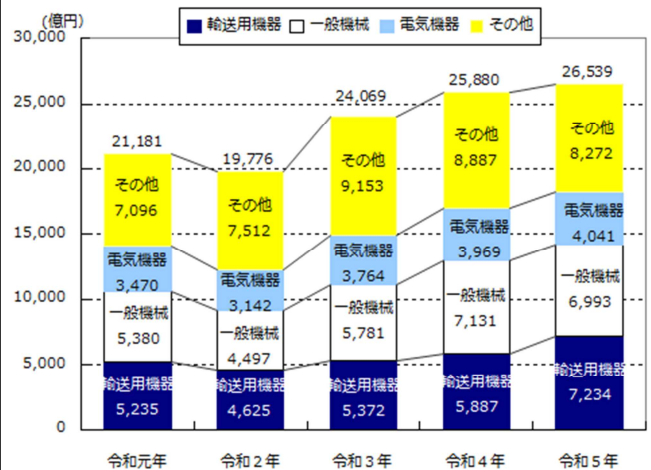
輸出入の動向

◎輸出は、増勢は鈍化したものの、底堅く推移した。

輸出は、増加して推移した後、年の後半はおおむね横ばいで推移し、通年では2兆6,539億円 (前年比 2.6%増) と、3年連続で増加した。また、品目別では、主要品目である一般機械 (前年比 1.9%減) が減少したものの、輸送用機器 (同 22.9%増)、電気機器 (同 1.8%増) がいずれも増加した。

輸入は、4月以降は前年を下回って推移し、輸入額は1兆4,574億円 (前年比 4.0%減) と、3年ぶりに減少した。

◎輸出額の推移



<資料> 名古屋税関清水支署

生産の動向

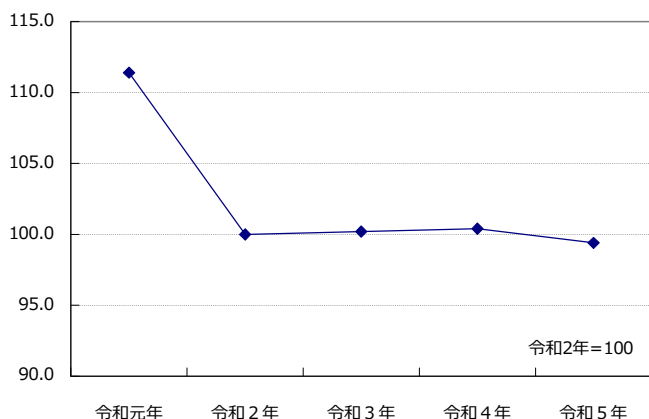
◎生産は、年の中盤にかけて緩やかに持ち直したが、後半は横ばいで推移した。

令和5年の生産の動向をみると、年間を通じて増減を繰り返して推移した。新型コロナウイルス感染症拡大前の水準 (令和2年2月: 105.5) には年間を通じて届かなかった。

(鉱工業生産指数)

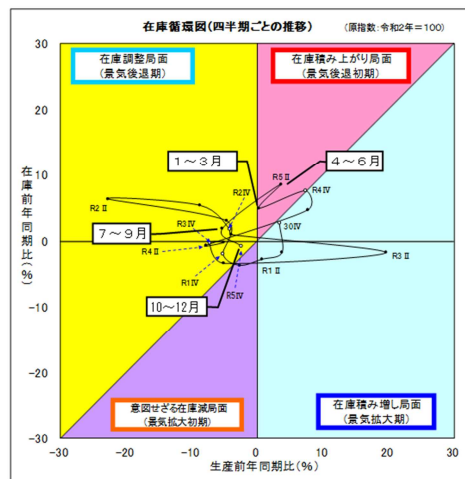
鉱工業生産指数のうち、季節調整済指数の年間平均は99.4、原指数の年間平均は99.4 (前年比 1.0%減) と、いずれも100を下回ったため、3年ぶりに前年を下回った。主要な業種別の原指数の年間平均では、輸送機械 (前年比 5.1%増) が増加したものの、はん用・生産用・業務用機械 (同 0.8%減)、電気機械 (同 2.5%減)、化学 (同 5.1%減)、パルプ・紙・紙加工品 (同 4.1%減)、食料品・たばこ (同 2.7%減) が減少した。

○鉱工業生産指数の推移（季節調整済 年別・月別）



<資料> 県統計調査課

○在庫循環図



<資料> 県統計調査課

(鉱工業在庫指数)

鉱工業在庫指数のうち、季節調整済指数の年間平均は105.1、原指数の年間平均は105.1（前年比3.5%増）と、2年連続で前年を上回って推移した。

なお、在庫循環図でみると、1月～6月は「在庫積み上がり局面（景気後退初期）」、7月～12月は「在庫調整局面（景気後退期）」に位置した。

雇用の動向

◎雇用は、改善の動きに落ち着きがみられた。

令和5年の雇用の動向をみると、有効求人倍率は1.2倍をおおむね上回って推移し、1月から緩やかに減少した。年間を通じて全国値を下回って推移した。

(有効求人倍率)

有効求人倍率は、令和5年の年間有効求人倍率は1.23倍（前年比0.05ポイント減）と、3年ぶりに減少した。また、全国値を0.08ポイント下回った。

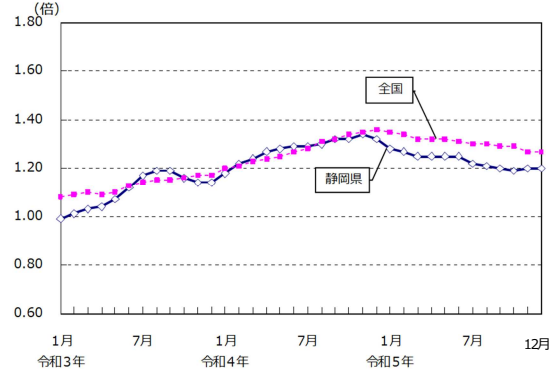
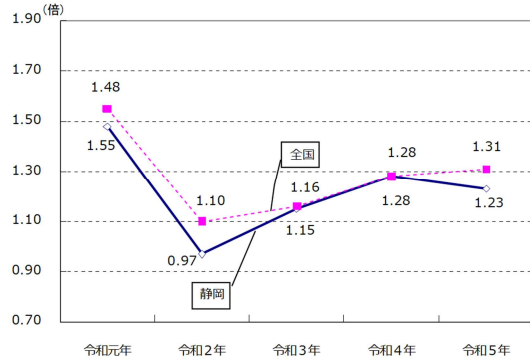
(雇用保険受給者実人員)

雇用保険受給者実人員は、3月までは前年を下回ったものの、その後前年を上回って推移し、令和5年の合計雇用保険受給者実人員は139,124人（前年比4.5%増）と、3年ぶりに増加した。

(所定外労働時間指数)

所定外労働時間指数は、年間を通じて110.0を上回って推移し、調査産業全体の平均は、120.1（前年比2.4%増）と、3年連続で増加した。

○有効求人倍率の推移（年別、月別）



<資料>厚生労働省

その他

【物 価】

国内企業物価指数（令和2年＝100）は、年間を通じて前年を上回って推移し、令和5年平均は119.7（前年比4.2%増）と前年より増加した。

【金 融】

県内金融機関の貸出残高は、7月以降は前年を下回って推移し、12月末時点の貸出残高は1兆3,418億円（前年同月比0.3%減）と、前年を384億円下回った。

県信用保証協会の保証承諾件数は21,922件（前年比2.2%減）、金額は2,974億円（同3.1%減）と、いずれも減少した。

【為 替】

円相場（対ドル平均）は、1月の130円20銭から年間を通じておおむね円安傾向で推移し、12月には144円7銭となった。

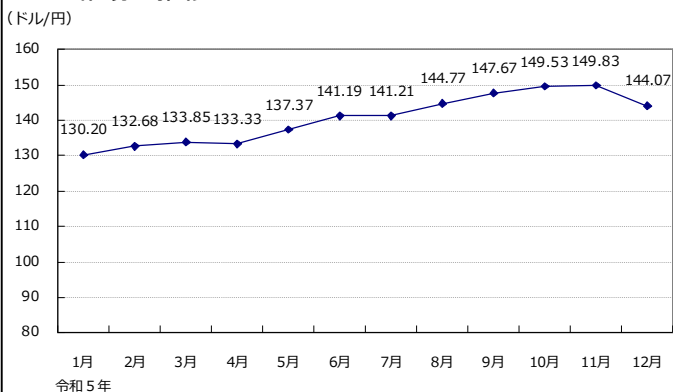
令和5年平均は140円48銭で、前年と比べて9円9銭の円安となった。

【企業倒産】

負債総額1,000万円以上の企業倒産件数は236件（前年比41.3%増）となり、前年より69件増加した。負債総額は479億円（同29.9%増）と、2年ぶりに増加した。

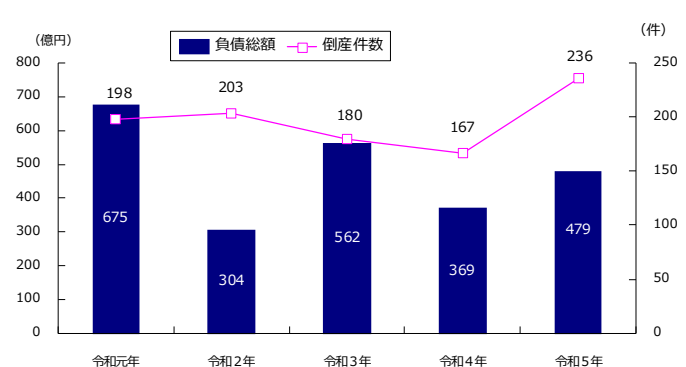
なお、コロナ関連破綻は75件となり、全体の31.8%を占めた。

○円相場の推移



<資料>日本銀行 東京為替相場

○企業倒産の動向



<資料>㈱東京商工リサーチ静岡支店

Ⅲ 令和5年の静岡県主要産業の動向

業 種	産 業 動 向
二 輪 車	<p>令和5年の国内二輪車生産台数は、680,898台（前年比2.0%減）で、3年ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>出荷台数は、国内向け376,720台（同7.0%減）で、3年ぶりに前年実績を下回った。輸出向けは518,259台（同4.9%増）で、3年連続で前年実績を上回った。</p> <p>今年は排気量51～125ccの原付第二種の出荷台数が14万台を超え、前年比で49.4%増となった。この背景には新型コロナウイルス感染症の第5類への移行に伴う行動規制の緩和やバイクメーカー各社の原付第二種ラインナップの拡充などの背景がうかがえる。</p> <p>二輪車の将来を考える官民一体の会議として平成25年9月に立ち上げられた「バイク・ラブ・フォーラム（略称BLF）」の第11回目会議が浜松市で開催され、2030年を達成目標とした「ロードマップ2030」の達成状況等について話し合われた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
自 動 車	<p>令和5年の自動車国内生産台数は、トラックは前年実績を下回ったものの、乗用車は前年実績を上回ったことから、全体でも8,998,538台（前年比14.8%増）と、5年ぶりに前年実績を上回った。なお、輸出は4,422,682台（同16.0%増）と、2年ぶりに前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
電 気 機 械	<p>令和5年の冷蔵庫の国内出荷台数は、3,459千台（前年比6.0%減）で、4年連続で前年実績を下回った。構成比は、401L以上の大型タイプが約45%を占めた。</p> <p>令和5年のエアコンの国内出荷台数は、家庭向けは8,784千台（同3.0%減）で、3年連続で前年実績を下回った。令和5年の夏は猛暑であったが、前年が高水準だった反動で出荷が伸びず、6年ぶりに9,000千台を割った。業務用は805千台（同2.4%減）で、2年連続で前年実績を下回った。</p> <p>令和5年の携帯電話の国内出荷台数は、7,697千台（同37.6%減）と2年連続で前年実績を下回った。原価の高騰により端末価格が上昇し、買い控えが広がった結果、28年ぶりに10,000千台を下回った。うち、スマートフォンは、5,635千台（同44.2%減）で、スマートフォン比率は73.2%であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、JEITA/CIAJ</p>
生 産 用 機 械	<p>令和5年の工作機械の受注総額は、1兆4,865億1,900万円（前年比15.5%減）と、3年ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>内訳をみると、外需は1兆96億9,800万円（同12.7%減）で、3年ぶりに前年実績を下回った。内訳は、アジア向けが4,275億9,400万円（同23.2%減）、欧州向けが2,335億4,300万円（同1.1%増）、北米向けが3,205億8,600万円（同6.9%減）であった。また、内需は4,768億2,100万円（同21.0%減）で、3年ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>半導体や自動車関連需要が落ち着いたこと、不動産不況により中国の設備投資が伸び悩んだこと等の影響により、3年ぶりに1兆5,000億円を下回ったものの、過去7番目の受注額となった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本工作機械工業会、静岡県中小企業団体中央会</p>

業 種	産 業 動 向
楽 器	<p>令和5年の県内楽器メーカーの販売金額は、673億2,560万円（前年比2.3%増）で、内訳は輸出向けが430億1,479万円（同11.8%増）、国内向けが241億7,484万円（同11.6%減）であった。</p> <p>ピアノ生産台数は37,781台（同2.1%減）で、2年連続で前年実績を下回った。機種別では、アップライトピアノが24,252台（同7.5%減）、グランドピアノが13,529台（同9.2%増）であった。また、販売台数は、輸出向けが26,908台（同7.3%減）、国内向けが12,036台（同13.7%減）であった。</p> <p>普及価格帯の楽器の新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴う巣ごもり需要は落ち着きを見せたが、高価格帯の楽器は評価の高まりとともに堅調に推移している。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県楽器製造協会</p>
紙	<p>令和5年の紙・板紙の国内出荷高は、22,045千ト（前年比7.1%減）で、2年連続で前年実績を下回った。</p> <p>内訳は、紙が10,451千ト（同8.5%減）で、2年連続で前年実績を下回り、板紙は11,594千ト（同5.8%減）と、3年ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>品種別では、ティシュペーパーやトイレットペーパー等の衛生用紙は、物価高等による消費者の買い控えや製品のコンパクト化等の影響から、内需量が減少し、国内出荷高は1,825千ト（同2.8%減）と、2年ぶりに前年実績を下回った。印刷・情報用紙は、PPC用紙を中心にデジタル化や価格改定等の影響を受け、内需量が減少しており、国内出荷高は5,564千ト（同9.1%減）と2年連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本製紙連合会「紙・板紙需給速報」</p>
缶詰・飲料	<p>令和5年の県内生産量は、食缶類が国内向け11,583千箱（前年比3.0%減）と、2年ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>分類別でみると、水産缶（国内向け）は8,172千箱（同2.8%減）と、2年ぶりに前年実績を下回った。うち主力であるツナ缶は5,411千箱（同1.9%増）と、3年ぶりに前年実績を上回った。農畜産缶（国内向け）は3,411千箱（同3.5%減）と、2年連続で前年実績を下回った。飲料缶類は、国内向けが83,270千箱（同0.6%増）と、2年連続で前年実績を上回った。</p> <p>エネルギーや原材料価格の高騰に伴う複数回の値上げによって、販売数量が減少している。価格の定着には時間がかかる見通し。業界では、安定供給や需要の開拓を目指し、新商品の開発等が積極的に行われている。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県缶詰協会</p>
織 維	<p>令和5年の広幅織物の県内生産は、9,225千㎡（前年比3.1%増）であった。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、8,682千㎡（同4.7%増）であり、別珍・コールテンの生産は、543千㎡（同16.8%減）であった。</p> <p>小幅織物の県内生産は、215千㎡（同9.9%増）であった。</p> <p>記録的な残暑の影響によって夏物衣料の需要が旺盛となり、綿織物の生産を主とする遠州産地では、春夏シーズンに向けての織物生産が活発化した。コロナ禍以前の水準には戻っていない。産地内外の同業・異業種と連携した独自ブランドの構築やECサイトへの出品による販路開拓、培った技術力による高付加価値化等を図り、生産量の回復に努めている。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合</p>

業 種	産 業 動 向
家 具	<p>令和5年の全国百貨店での家具販売額は、493億2,341万円（前年比 2.3%増）と3年連続で前年実績を上回った。また、大型量販店での家具・インテリアの販売額は、7,178億6,724万円（同0.1%減）と2年ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>家具の市場は従来型の家具専門店や総合スーパーのほか、外資系家具店の参入、衣料販売等の異分野から派生した複合型のブランドショップ、通信販売など、購入場所の選択肢が増えている。</p> <p>またクローゼットなどのビルトイン家具の普及やブライダル需要の縮小の影響が大きく、「たんす」の需要は著しく縮小しており、その国内出荷量は1990年代の1割未満と低い水準となっている。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本百貨店協会、日本チェーンストア協会</p>
小 売 業	<p>令和5年の県内の百貨店及びスーパーの売上高は、451,761百万円で、対前年比（全店）2.2%増となった。</p> <p>店舗種別に見ると、百貨店の売上高は、68,931百万円で、対前年比（全店）1.2%増となった。百貨店への聞き取りでは、前年から引き続き雑貨（化粧品、宝飾・貴金属等）の売上げが好調だった。また、食料品やキャラクターの催事が盛況だった。</p> <p>スーパーの売上高は、382,830百万円で、対前年比（全店）2.4%増となった。スーパーへの聞き取りでは、弁当・総菜の売上げが前年同月を上回る傾向にあった。また、物価高騰の影響による、仕入れ価格の高騰から販売価格が上昇したため、買い控えが見られた商品もあった。</p> <p>百貨店及び専門店では、外出需要の高まりから旅行用品や衣料品の売上げが好調だった。しかし、9月以降は気温が高く季節ものの衣料品の売上げが不調だった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞経済産業省、静岡県地域産業課</p>
観 光	<p>令和5年の県内主要10観光施設の合計入込客数は約491万人と、前年比16.8%増だった。</p> <p>主要有料道路（4路線）の合計通行車両数は、約718万台となり、前年比2.0%増だった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県観光政策課</p>

本書で掲載している県内の主要統計資料の時系列（過去10年間）のデータは静岡県公式ホームページの「統計センターしずおか」で公表しています。

<http://toukei.pref.shizuoka.jp/>

需要面	生産面	雇用面	その他
・大型小売店販売額	・鉱工業生産指数	・有効求人倍率	・国内企業物価指数
・専門量販店等販売額	・鉱工業在庫指数	・雇用保険受給者実人員	・県内金融機関貸出残高
・自動車新規登録台数		・完全失業率	・信用保証協会保証金額
・新設住宅着工戸数		・所定外労働時間指数	・企業倒産件数
・清水税関支所管内輸出額			
・清水税関支所管内輸入額			

提供いただいている資料

資料名	提供元	ホームページアドレス
公共工事請負金額	東日本建設業保証（株）	http://www.ejcs.co.jp/region/index.html
設備投資	日本銀行静岡支店	http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html
貸出約定金利		
国内企業物価指数	日本銀行	http://www.boj.or.jp/type/stat/boj_stat/index.htm
円相場		

参考となる全国の資料等

資料名	提供元	ホームページアドレス
鉱工業生産指数	経済産業省	http://www.meti.go.jp/statistics/index.html
大型小売店販売額		
専門量販店等販売額		
輸出入	財務省	http://www.mof.go.jp/siryou.htm
国際収支		
機械受注	内閣府	http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html
完全失業率	厚生労働省	http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html
有効求人倍率		

静岡県月例経済報告

令和6年3月号 通巻575号

発行 静岡県経済産業部
令和6年3月

編集 経済産業部政策管理局産業政策課
〒420-8601
静岡市葵区追手町9-6
TEL 054-221-2635
FAX 054-221-3217
E-mail sangyo-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp
URL <https://www.pref.shizuoka.jp/kensei/introduction/soshiki/1002123/index.html>